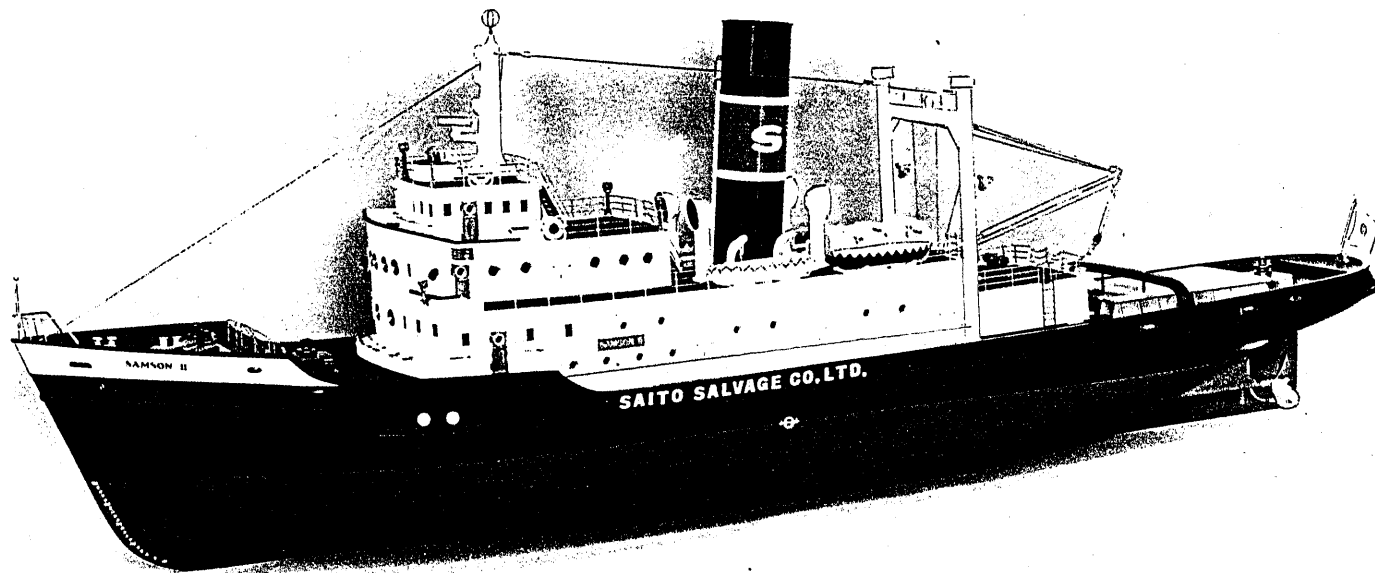


外洋サルベージ タグボート
S. 1/40
DEEP SEA SALVAGE TUGBOAT
SAMSON II

組立説明書



SAITO

この度は、「サムソンII」をお買上げ頂きありがとうございます。

製作にあたり、本説明書を一度通読いただきますと、工作順序などがわかりやすくなります。

次の工具、接着剤を用意していただきますと便利です。

本船は、特定の実船の完全スケールモデルではありませんので、艤装や塗装にオリジナリティーをもたせて、自由に仕上げてください。

・工 具 目の細かいノコギリ、小さなカンナ(バルサカンナ等)、ラジオペンチ、ニッパー、ヘアードライヤー、半田ごて、ピンセット、リョータ(小さな電気ドリル)、ヤスリ(平幅10ミリ位、丸3ミリ・8ミリ位)、サンドペーパー240番・80番、コンパス、ハサミ、カッター、ピンバイス等

・接着剤 説明文中には①、②、③記号で表示しています。

① シアノ系瞬間接着剤 用途別に多種市販されていますが、木工用の薄めのもの(ABSとベニヤ)と、ベニヤ用(ベニヤとベニヤ)を用意(2種類) しますと便利です。

② 5分間エポキシ接着剤 ヘアードライヤー等で加熱し、針金等で誘導しますと、少量で早く接着できます。盛り付け時は加熱せず、流れない様にします。

③ 30分間エポキシ接着剤 船体とフレーム、甲板接着に使用し、加熱せず使います。冬は周囲温度が20℃以上の方が良好に硬化します。
ゴム系、接着剤 バラスト固定用

・塗 料 船体はラッカー、ウレタン、エポキシ等、小物はプラカラーが便利です。

☆ラッカー 白 1/5ℓ
 緑 少量
 黄 少量
 黒 1/5ℓ
 赤 1/5ℓ
 青 少量

☆プラカラー 黒鉄、グレー、赤、緑、マホガニー色 等

☆ラッカサフエーサー

☆パテ

☆シンナー 2ℓ

☆水ペーパー 400番、800番

注) BS—真中、ABS—ABS樹脂、AL—アルミニウム
φ—直径、t—板厚、巾—幅、L—長さ

A 一船体部品				B 一キャビン部品			
品番	品 名	数量	備 考	品番	品 名	数量	備 考
A 1	船体	1	FRP	B 1	キャビン側面板(初段)	2	3mmシナベニヤ
A 2	甲板	1	3mmシナベニヤ	B 2	樺板	1	〃
A 3	〃 (中間)	1	〃	B 3	〃	1	〃
A 4	〃 (船首)	1	〃	B 4	〃	2	〃
A 5	樺板	1	〃	B 5	〃	1	〃
A 6	〃	1	〃	B 6	〃	1	〃
A 7	〃	1	〃	B 7	キャビン甲板(初段)	1	〃
A 8	〃	1	〃	B 8	クレーン取付側面板	2	〃
A 9	〃	1	〃	B 9	樺板	2	〃
A 10	〃	1	〃	B 10	〃	1	〃
A 11	〃	1	〃	B 11	クレーン取付後面板	1	〃
A 12	〃	1	〃	B 12	クレーン甲板	1	〃
A 13	〃	2	〃	B 13	キャビン側面板(2段)	2	〃
A 14	〃	1	〃	B 14	樺板	1	〃
A 15	〃	1	2mmシナベニヤ	B 15	〃	1	〃
A 16	〃	2	3mm 〃	B 16	後面板(2段)	1	〃
A 17	〃	2	〃	B 17	キャビン甲板(2段)	1	〃
A 18	〃	1	〃	B 18	樺板	2	〃
A 19	〃	1	〃	B 19	〃	2	〃
A 20	〃	2	〃	B 20	〃	2	〃
A 21	〃	2	〃	B 21	〃	2	〃
A 22	〃	2	〃	B 22	煙突支え台	1	2mmシナベニヤ
A 23	〃	1	〃				
A 24	スタンチューブ支え台	2	〃				
A 25	〃	2	〃				
A 26	排水口	8	BS13φ				
A 27	係船口	6	AL 1 t				
A 28	スタンチューブ	2	BS6.35φ×225L				
A 29	シャフト軸受(後)	2	BS				
A 30	舵	1	3mmシナベニヤ				
A 31	〃	1	〃				

品番	品 名	数量	備 考	B60	煙突取付板	2	3mmシナベニヤ	B98	照明燈	2	AL19φ×13L
B23	後部ポスト支え台	2	3mmシナベニヤ	B61	汽笛	1	BS	B99	サーチライト支柱	2	〃
B24	キャビン前面板	1	2mm 〃	B62	機関室屋根上面板	1	3mmシナベニヤ	C-R Cハッチ部品			
B25	桟板	3	3mm 〃	B63	〃	2	〃				
B26	〃	1	2mm 〃	B64	〃 側面板	2	〃				
B27	〃	1	〃 〃	B65	〃 前後面板	2	〃				
B28	ポートダビット台	8	3mm 〃	B66	ポートダビット	8	2mmシナベニヤ	品番	品 名	数量	備 考
B29	後部ポスト	2	AL13φ×260L	B67	〃	16	〃	C1	上面板(大)	1	3mmシナベニヤ
B30	後部ポスト支え台	6	〃 1 t	B68	ポート用モータ	8	AL7φ×10L	C2	〃 (小)	1	〃
B31	〃 位置決め台	2	ABS2 t×5φ×40L	B69	プーリー軸受	8	〃 6φ×1.5 t	C3	側面板	2	〃
B32	操舵室側面板	2	3mmシナベニヤ	B70	プーリー	8	〃	C4	前面板	1	〃
B33	桟板	2	〃 〃	B71	モーターポート	2	プラ	C5	後面板	1	〃
B34	操舵室後面板	1	〃 〃	B72	〃 桟板	2	〃	C6	トウイングビーム	2	〃
B35	〃 前面板	1	2mm 〃	B73	手こぎポート	2	プラ	D-後部ハッチ部品			
B36	〃 甲板	1	〃 〃	B74	〃 桟板	2	〃				
B37	レーダーマスト側板	2	〃 〃	B75	後部ベンチレーター	2	AL24φ×12L				
B38	ループアンテナ	2	BS 1.5φ×18φ	B76	後部ポストはり板	1	3mmシナベニヤ				
B39	〃 支柱	1	〃 4φ×20L	B77	〃 側板	2	〃	品番	品 名	数量	備 考
B40	サーチライトフランジ	6	AL	B78	ブームA	1	AL5φ×60L	D1	上面板	1	3mmシナベニヤ
B41	マスト横ゲタ	1	BS 3φ×70L	B79	〃 B	1	〃 7φ×130L	D2	側面板	2	〃
B42	マストランプ	6	〃	B80	〃 C	1	〃 5φ×60L	D3	前後面板	2	〃
B43	レーダー用三角材	1	〃	B81	ピボット	1	BS				
B44	コンパス	1	AL	B82	ブラケット	1	BS				
B45	コンパス台	1	〃	B83	M3皿ビス	1	〃				
B46	〃 ベース	1	〃	B84	滑車	2	BS				
B47	〃 軟鉄球	2	〃	B85	後部ウインチ台	1	3mmシナベニヤ				
B48	〃 防護板	2	3mmシナベニヤ	B86	〃	2	〃				
B49	〃	1	2mm 〃	B87	〃	2	〃				
B50	サーチライト	6	AL	B88	ウインチドラム(大)	1	AL16φ×20L				
B51	〃 ステア	6	〃	B89	後部ウインチ台	1	3mmシナベニヤ				
B52	〃 支柱	4	BS4φ×30L	B90	〃	1	〃				
B53	浮輪	12	プラ	B91	〃	1	〃				
B54	虫ピン	1	〃	B92	ウインチドラム(中)	1	AL11φ×11L				
B55	ベンチレータ上部	4	AL	B93	〃 (小)	2	〃 10φ×10L				
B56	〃 中間パイプ	4	〃 15φ×65L	B94	フレーム(右)	1	〃				
B57	〃 フランジ	4	〃	B95	〃 (左)	1	〃				
B58	煙突	1	〃 70φ×260L	B96	後部ドラム	1	〃				
B59	〃 リング	3	1.5φ×73φ	B97	〃 スペーサー	2	〃				

E－共通部品				F－共通材料			
品番	品 名	数量	備 考	品番	品 名	数量	備 考
E 1	ハトメ	4		F 1	真中線0.5φ	1/2	1本の長さ1m
E 2	手すり支柱	71	BS	F 2	〃 0.8φ	5	〃
E 3	階段セット	5	5組	F 3	〃 1φ	7	〃
E 4	ヒートン	39		F 4	〃 1.5φ	1/2	〃
E 5	スプリング	13		F 5	〃 2φ	1	〃
E 6	キャブスタン(大)	3	AL	F 6	ABS材1t×3巾	2	〃
E 7	モーター	3	AL	F 7	〃 1t×6巾	2	〃
E 8	ローラー	16	〃 5φ×5L	F 8	〃 1t×10巾	1	〃
E 9	M3ボルト	3	M3×12L	F 9	〃 1t×20巾	3	〃
E10	M3ナット	4		F10	〃 1t×25巾	2	〃
E11	ループアンテナ支柱	1	BS 3φ×25L	F11	〃 3口	8	〃
	ウインチドラム軸	1		F12	桧棒4口	5	1本の長さ900mm
	トウイングビームステー	2		F13	〃 5口	5	〃
E12	滑車	21	プラ	F14	パルサ角材8口	1	200mm
E13	ハンドレールノブ	76	BS	F15	〃 10口	1	450mm
E14	丸窓(大)	20	BS16φ	F16	ワイヤー	1	2m
E15	〃 (中)	48	〃 12φ	F17	タコ糸	1	5m
E16	角窓	29	〃 14×18	F18	ドア材	1	80×100パルサ
E17	ドアヒンジ	16	〃 2φ×6L	F19	チェーン	1	500mm
E18	バルブ	6	〃	F20	ゴムパイプ	1	(内径5φ)800mm
E19	コック	6	〃	F21	〃	1	(内径3.4φ)1m
E20	M2ボルト	8	M2×5L	F22	B液	1	前処理剤
E21	M2ナット	23		G－船台部品、ゲージ部品			
E22	M4ビス	4	M4×20L				
E23	M4ナット	4					
E24	M2ビス	13	M2×8L				
E25	M2ボルト	8	M2×7L				
				品番	品 名	数量	備 考
				G 1	船台(前)	1	9mmベニヤ
				G 2	〃 (後)	1	〃
				G 3	〃 (横板)	2	〃
				G 4	ゲージ板イ	1	3mmシナベニヤ
				G 5	〃 ロ	1	
				G 6	〃 ハ	1	
				G 7	〃 ニ	1	

(注意点)

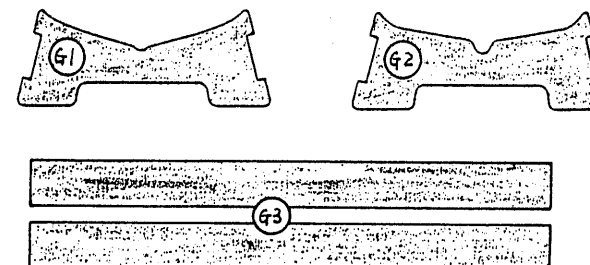
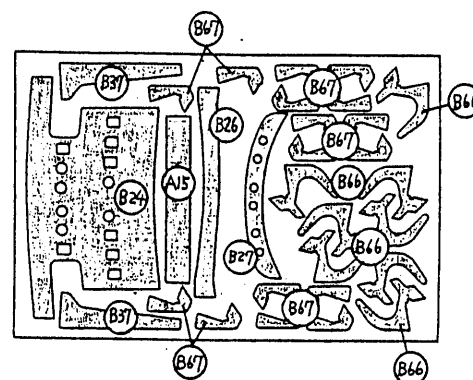
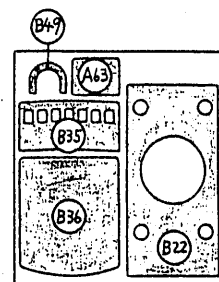
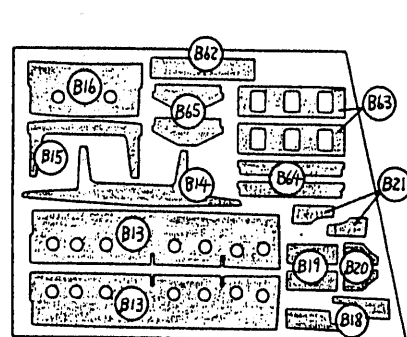
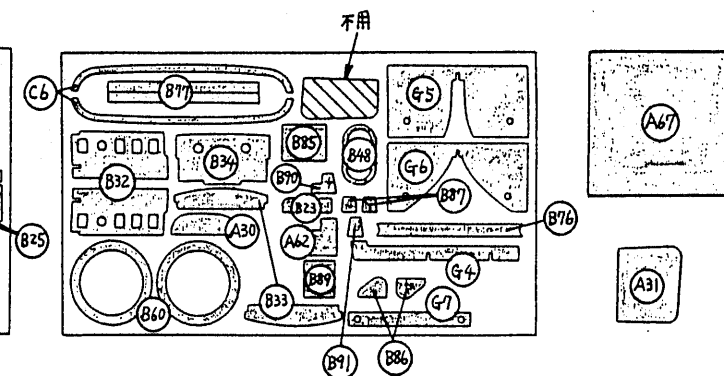
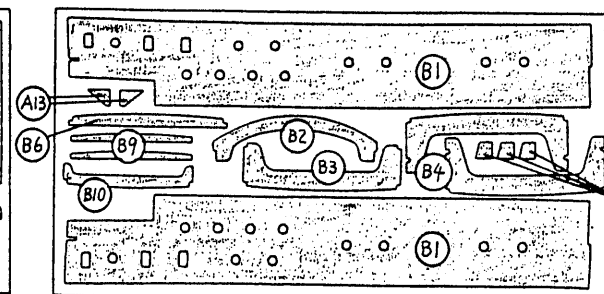
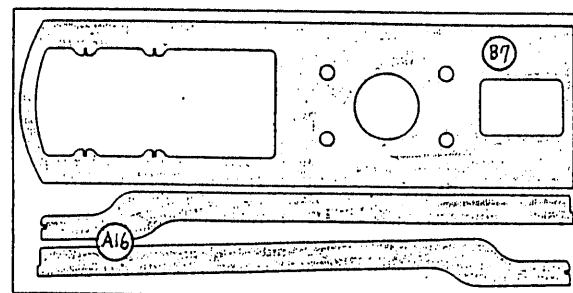
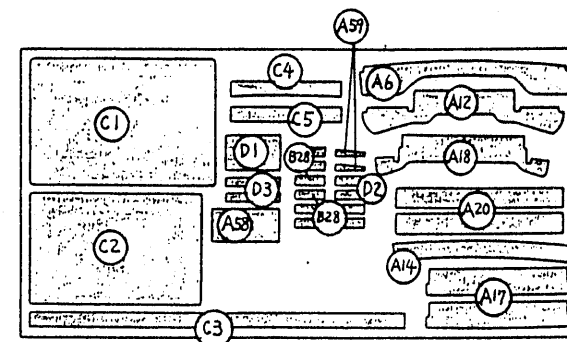
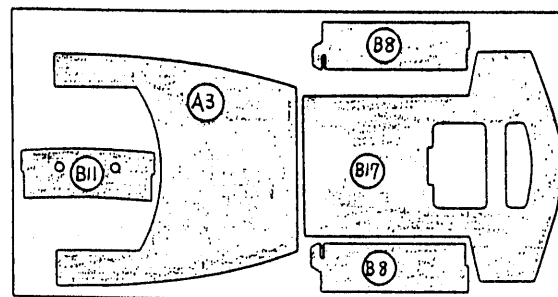
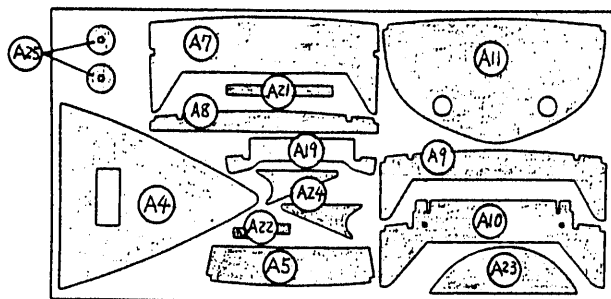
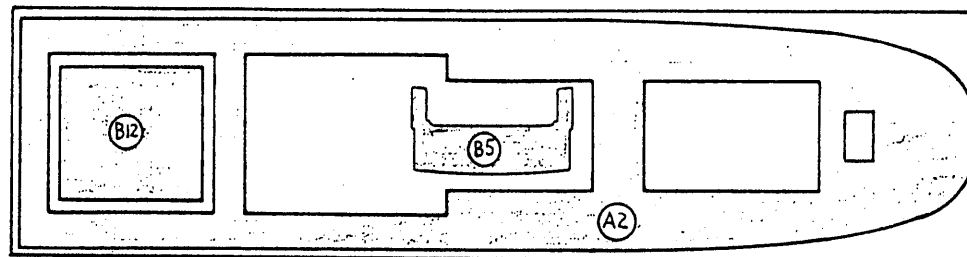
1. 本船の組立には木工用ボンドは使用できません。
2. 特別に船体内部の防熱対策は必要ありませんが、内部塗装にエンビ系は使用しないで下さい。
3. セット内のF22B液はABSを他の材料に接着する場合の前処理剤です。接着前にABS側に筆等で塗り、20分以内にエポキシ系接着剤で接着します。蒸発性、引火性ともに強いので、火気に気を付けて下さい。

(船体塗装について)

1. 外部の傷等を400番水ペーパーでとり、甲板上を紙テープ等でマスキングする。
2. サフェーサを3回、1回ごとに乾燥後水ペーパーをかける。
3. ヘこみ等をパテで埋め、下地を完全に仕上げる。同様にキャビン等の木製部は下地をつくります。
4. 吃水線以下をマスキング、黒ラッカーを3～4回塗り次に、上部をマスキングし、吃水下を(赤+黒0.5%)で塗る。
5. 甲板、キャビン等は外箱写真を参考に塗装します。

木製部品表

お客様にお願い：部品を打ち抜く前に、この部品表により、
各部品に番号を記入して下さい。
組立の時は、部品番号を記入した面を
裏側にして下さい。



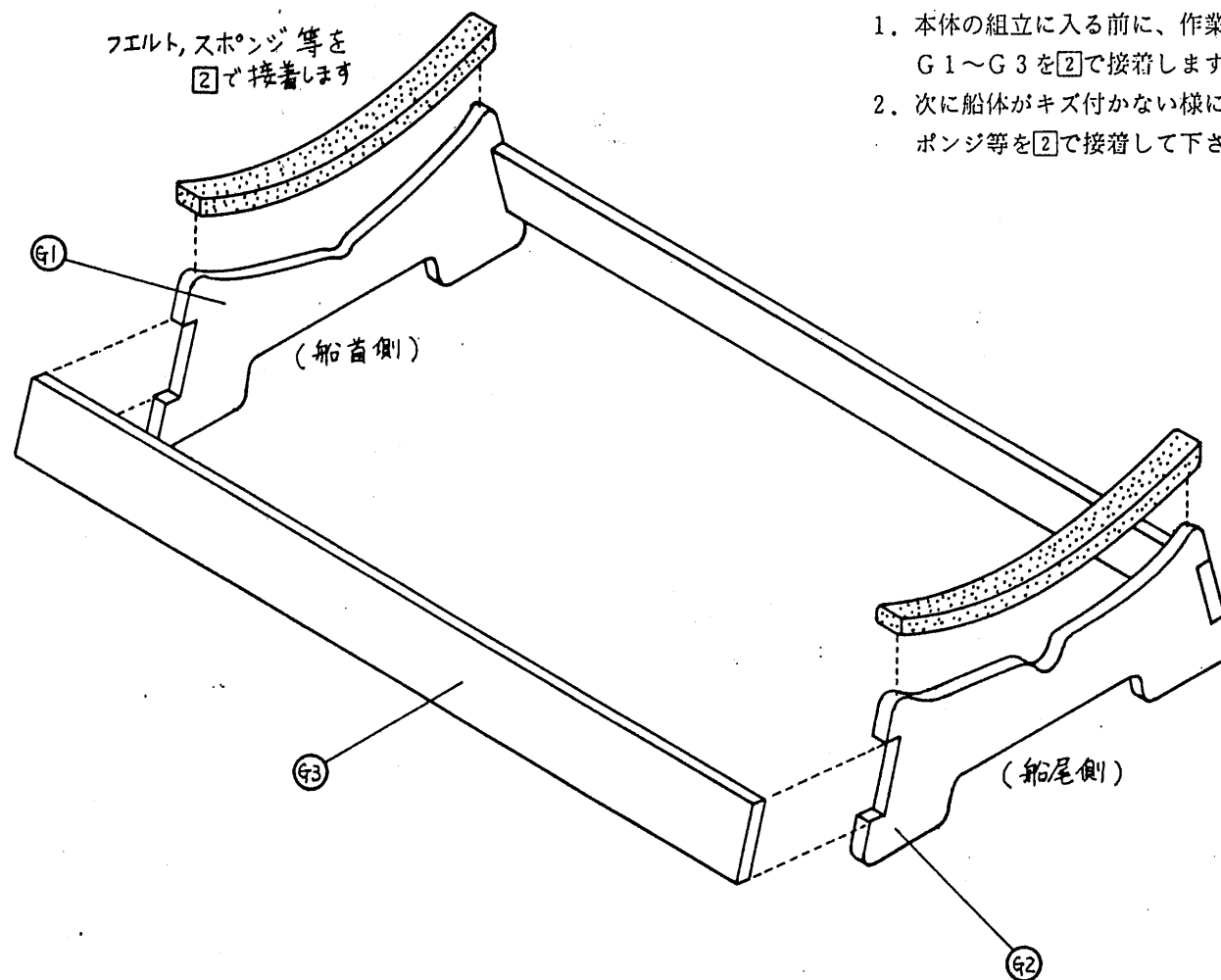
〔1〕 船台組立

① 船台組立

1. 本体の組立に入る前に、作業台として船台を組立てます。

G 1～G 3を②で接着します。

2. 次に船体がキズ付かない様にG 1及びG 2にフェルト、スポンジ等を②で接着して下さい。



〔2〕 船体組立

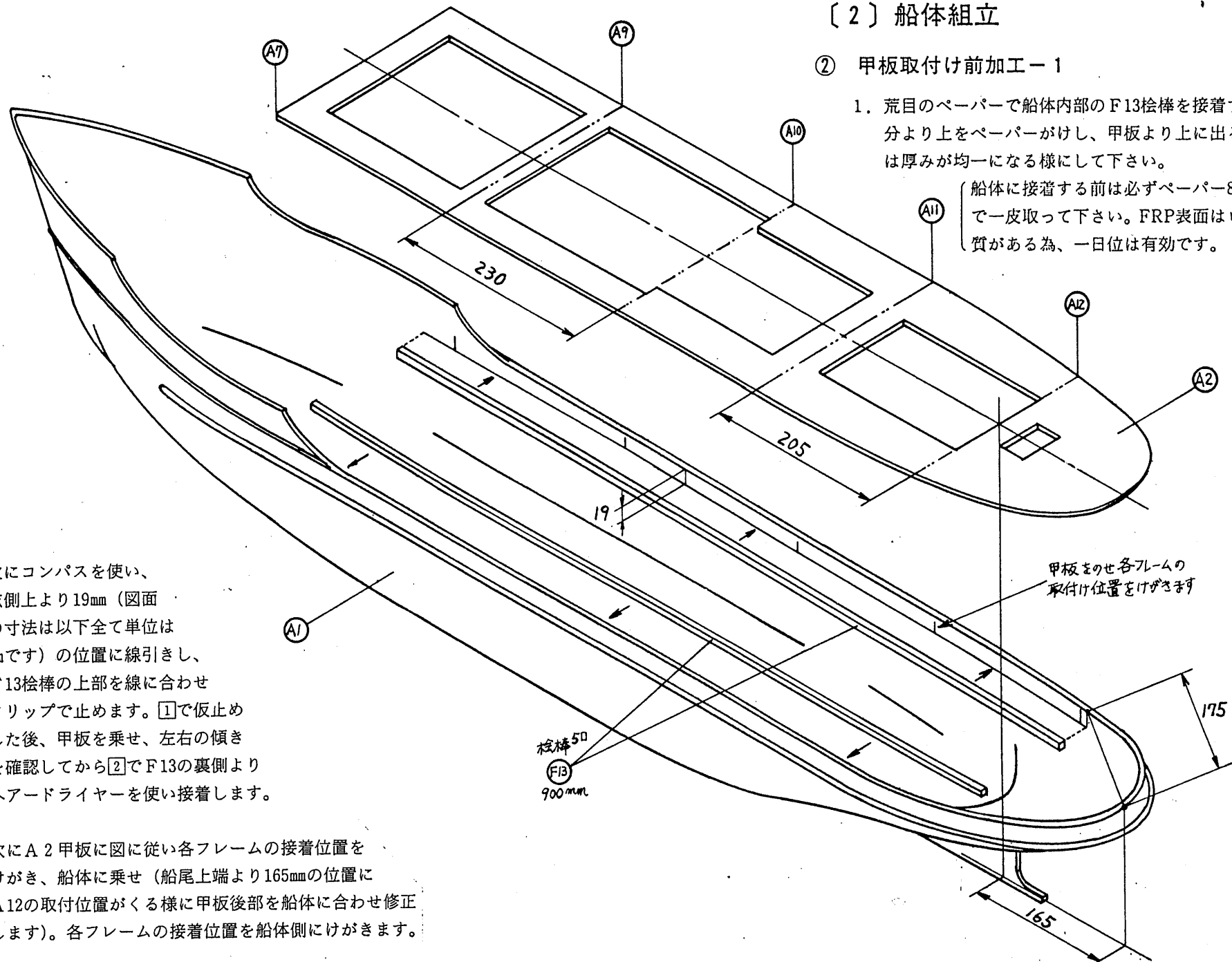
② 甲板取付け前加工 - 1

1. 荒目のペーパーで船体内部のF13桧棒を接着する部分より上をペーパーがけし、甲板より上に出る部分は厚みが均一になる様にして下さい。

〔船体に接着する前は必ずペーパー80番で一皮取って下さい。FRP表面はロー質がある為、一日位は有効です。〕

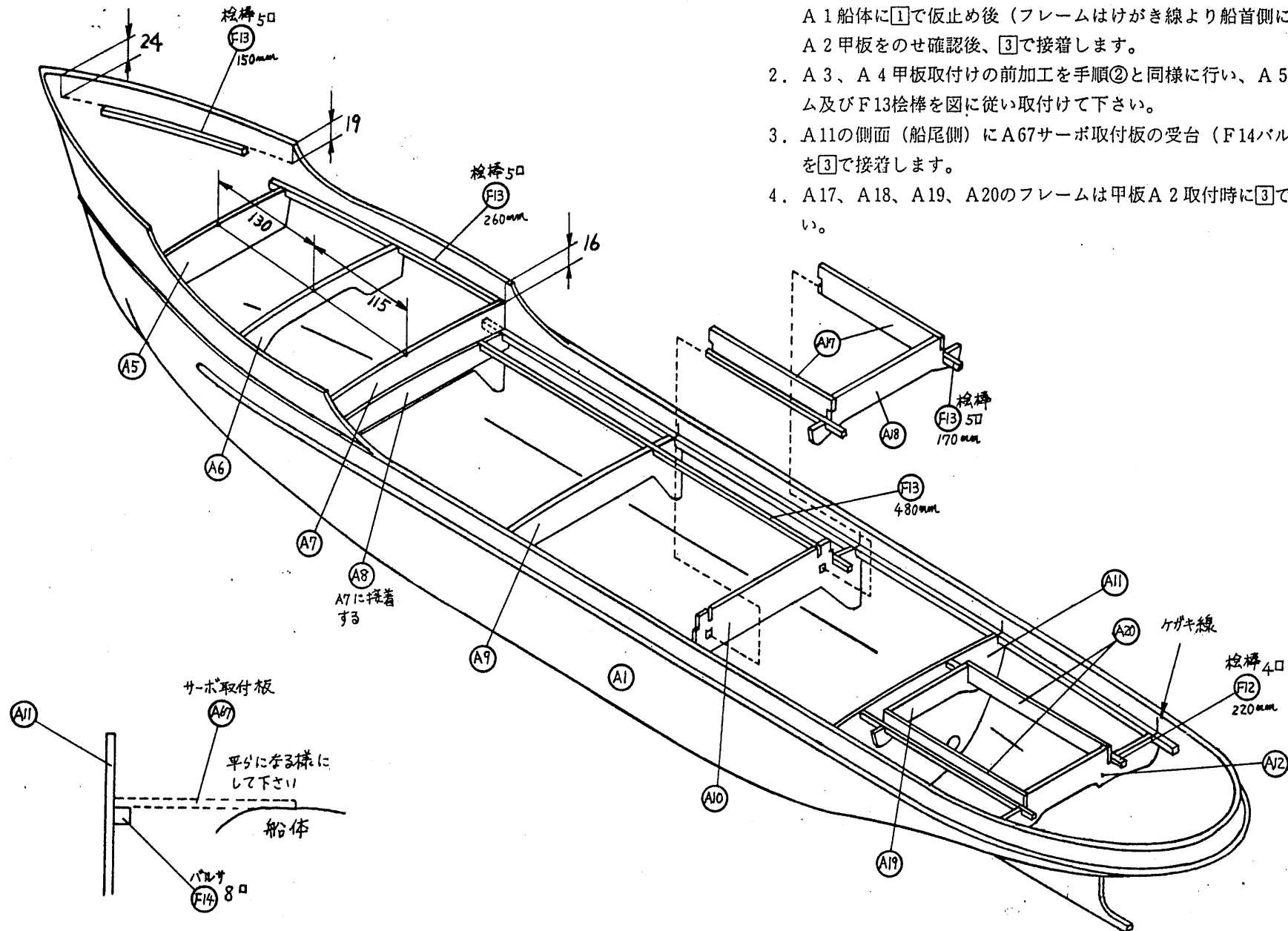
2. 次にコンパスを使い、舷側上より19mm (図面の寸法は以下全て単位はmmです) の位置に線引きし、F13桧棒の上部を線に合わせクリップで止めます。①で仮止めた後、甲板を乗せ、左右の傾きを確認してから②でF13の裏側よりヘアードライヤーを使い接着します。

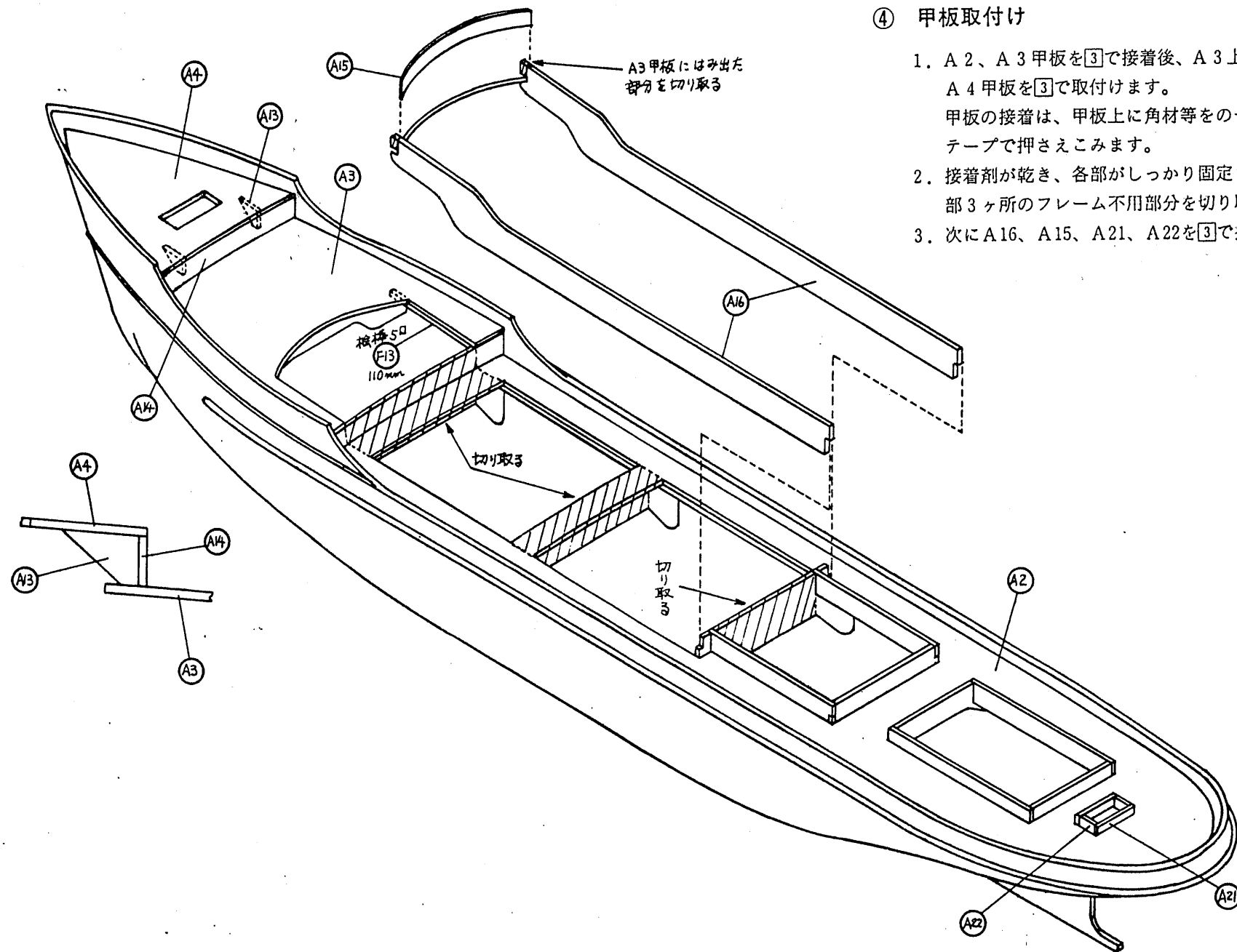
3. 次にA2甲板に図に従い各フレームの接着位置をけがき、船体に乗せ (船尾上端より165mmの位置にA12の取付位置がくる様に甲板後部を船体に合わせ修正します)。各フレームの接着位置を船体側にけがきます。



③ 甲板取付け前加工 - 2

1. けがき線に合わせ各フレーム (A 7、A 8、A 9、A 10、A 11、A 12) を A 1 船体に①で仮止め後 (フレームはけがき線より船首側に取付けます) A 2 甲板のをせ確認後、③で接着します。
2. A 3、A 4 甲板取付けの前加工を手順②と同様に行い、A 5、A 6 フレーム及び F 13 桹棒を図に従い取付けて下さい。
3. A 11 の側面 (船尾側) に A 67 サーボ取付板の受台 (F 14 バルサ 8 口 150mm) を③で接着します。
4. A 17、A 18、A 19、A 20 のフレームは甲板 A 2 取付時に③で取付けて下さい。



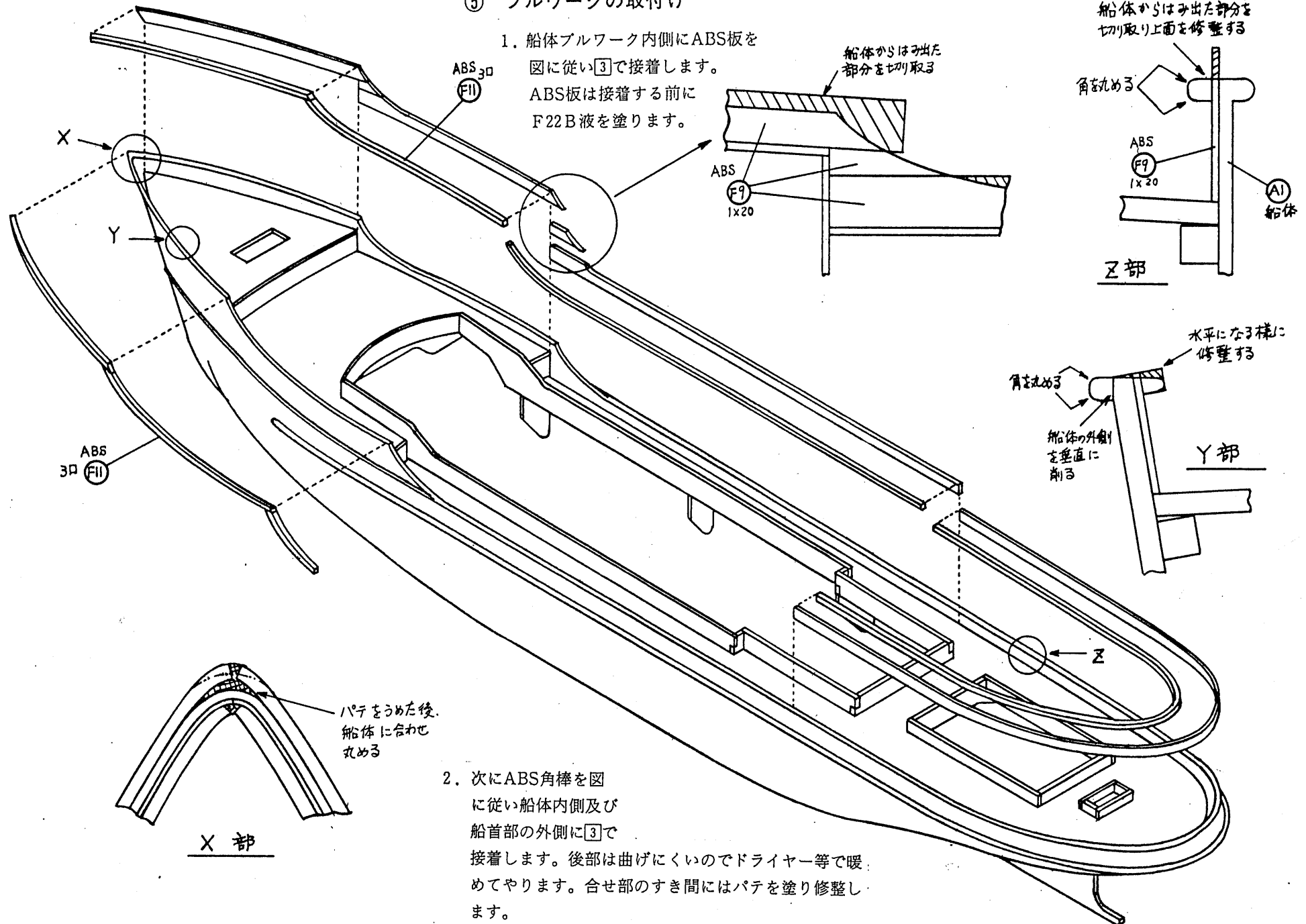


④ 甲板取付け

1. A 2、A 3 甲板を③で接着後、A 3 上にA13、A14、A 4 甲板を③で取付けます。
甲板の接着は、甲板上に角材等をのせひも又はガムテープで押さえこみます。
2. 接着剤が乾き、各部がしっかり固定された後、斜線部3ヶ所のフレーム不用部分を切り取ります。
3. 次にA16、A15、A21、A22を③で接着します。

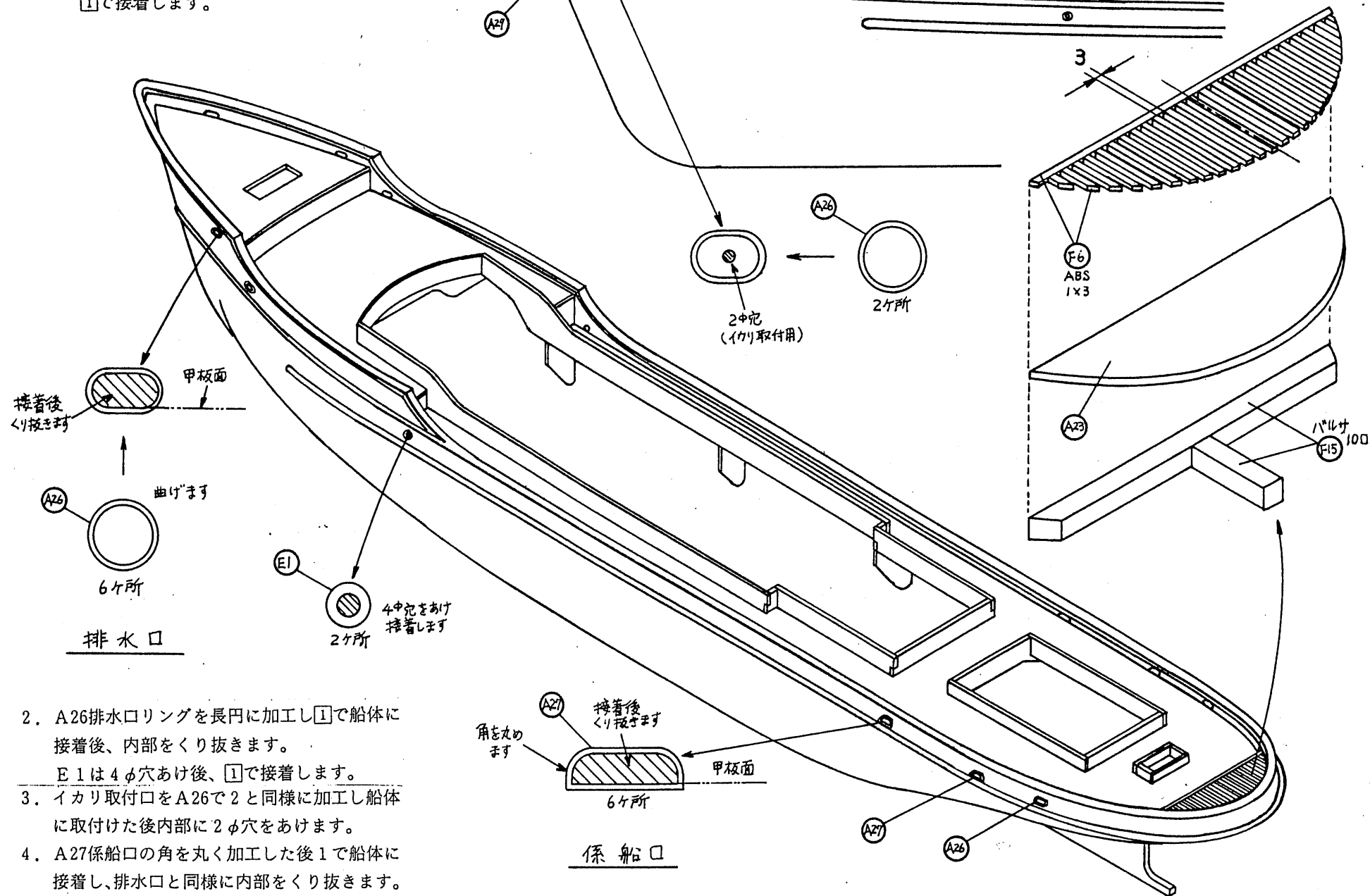
⑤ ブルワークの取付け

1. 船体ブルワーク内側にABS板を
図に従い③で接着します。
ABS板は接着する前に
F22B液を塗ります。



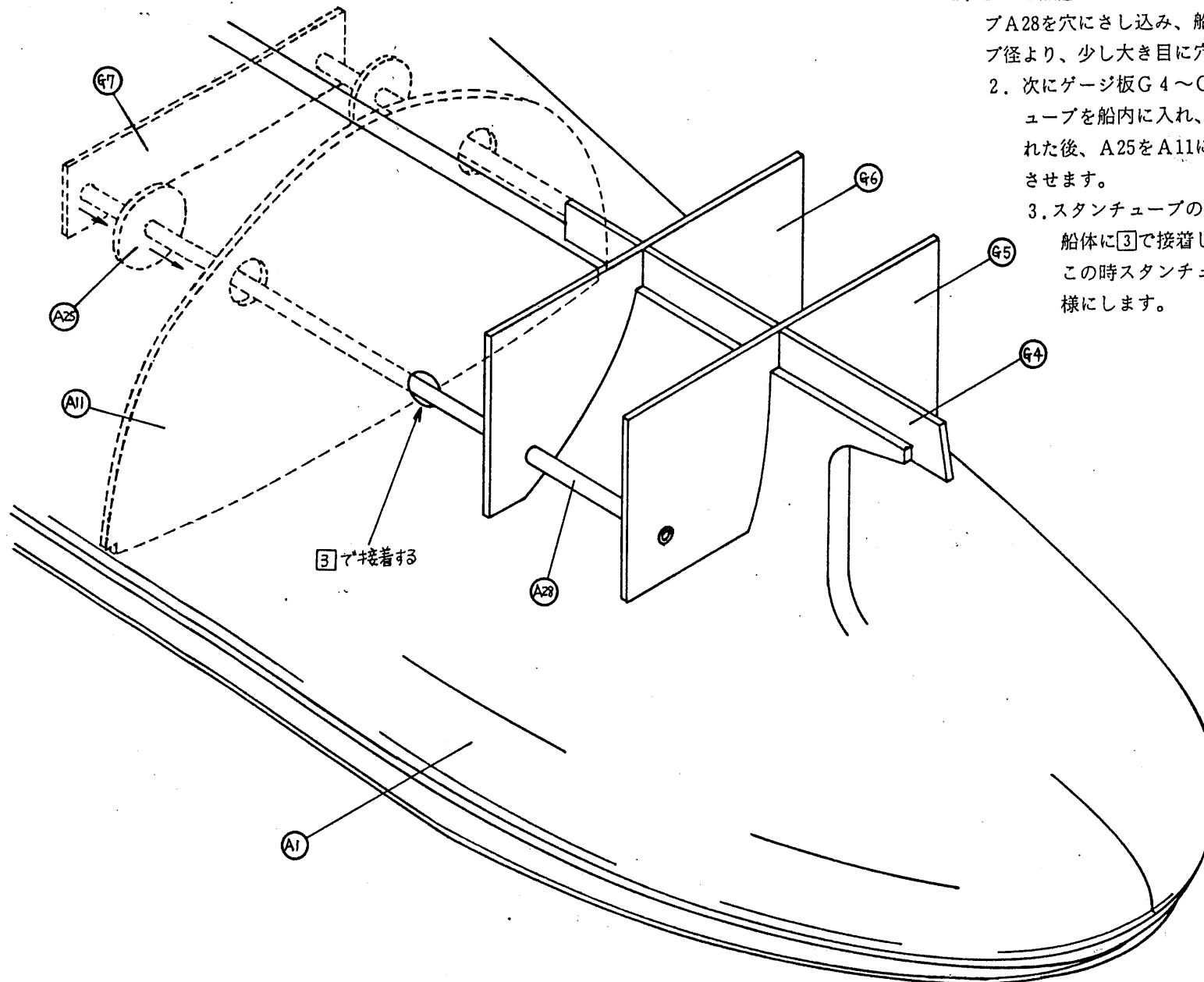
⑥ 後部作業甲板、係船口、排水口、等の取付け

1. 後部作業甲板を図に従い加工し、A 3 甲板に
 ①で接着します。



⑦ スタンチューブの取付

1. A1の船底にゲージ板G4、G5、G6を取付けスタンチューブA28を穴にさし込み、船体に穴位置をけがき、スタンチューブ径より、少し大き目に穴をあけます。
2. 次にゲージ板G4～G6をA1に①で仮止めし、スタンチューブを船内に入れ、A11、A25、ゲージ板G7の順に入れた後、A25をA11に①で仮止めしスタンチューブを安定させます。
3. スタンチューブの端をゲージ板G5の面位置に合わせ、船体に③で接着します。
この時スタンチューブの注油口が下（甲板側）を向く様にします。



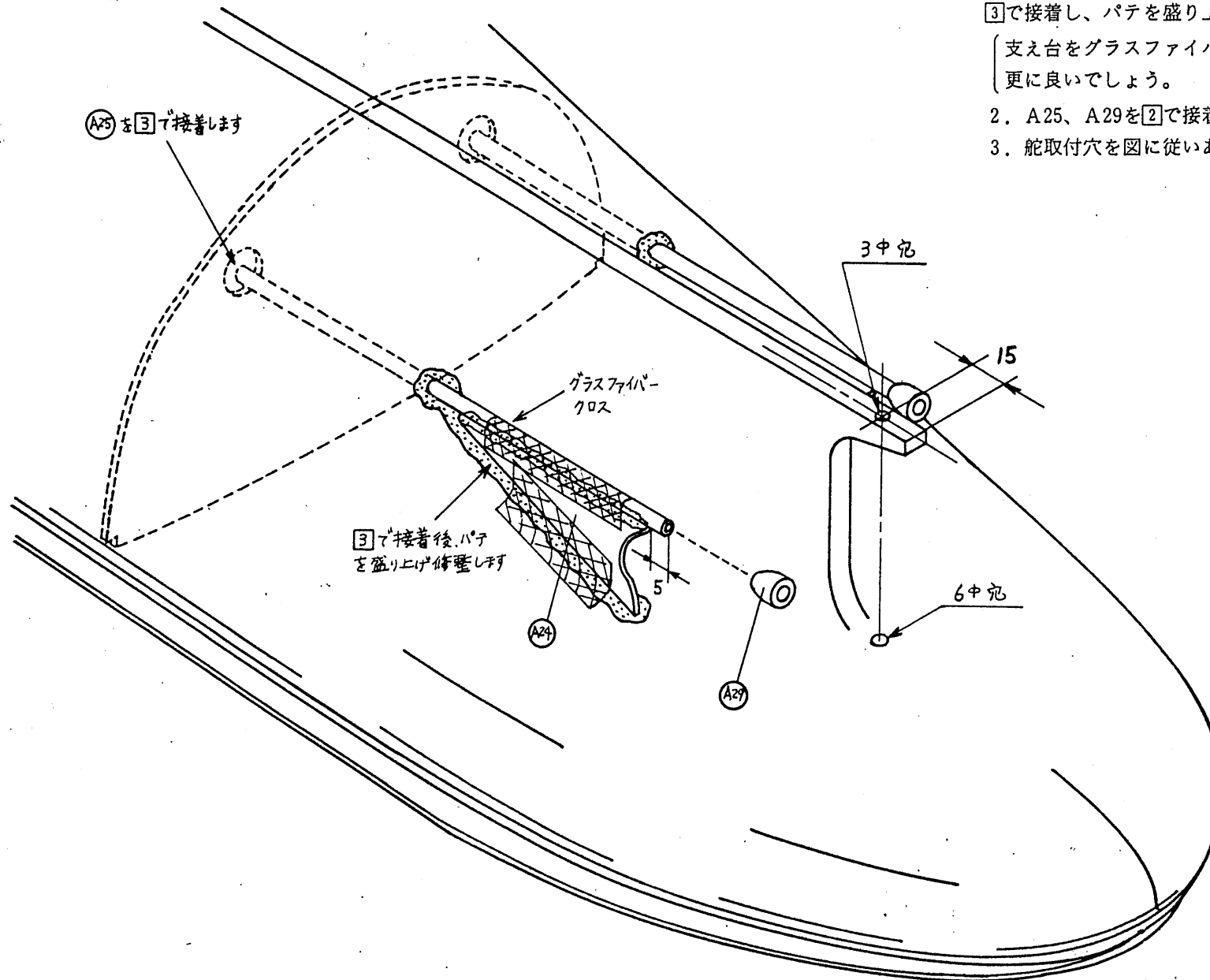
⑧ スタンチューブ支え台取付け、及び舵取付穴加工

1. スタンチューブの曲面に合わせ、支え台A24を加工した後、
③で接着し、パテを盛り上げ修整します。

〔支え台をグラスファイバークロス、等で補強すると
更に良いでしょう。〕

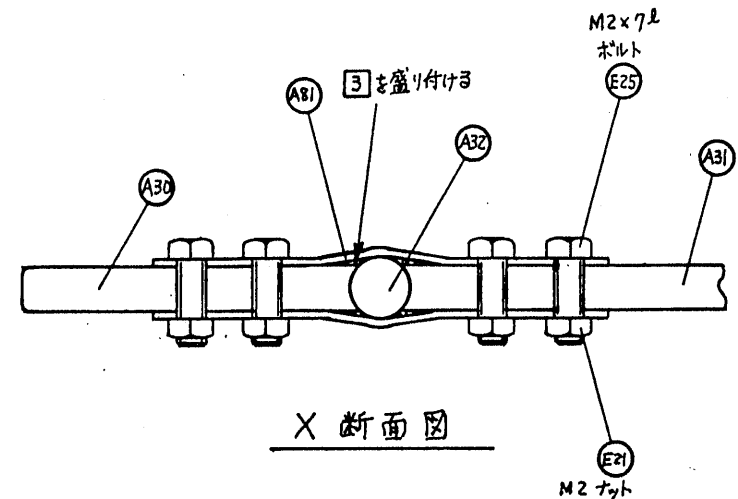
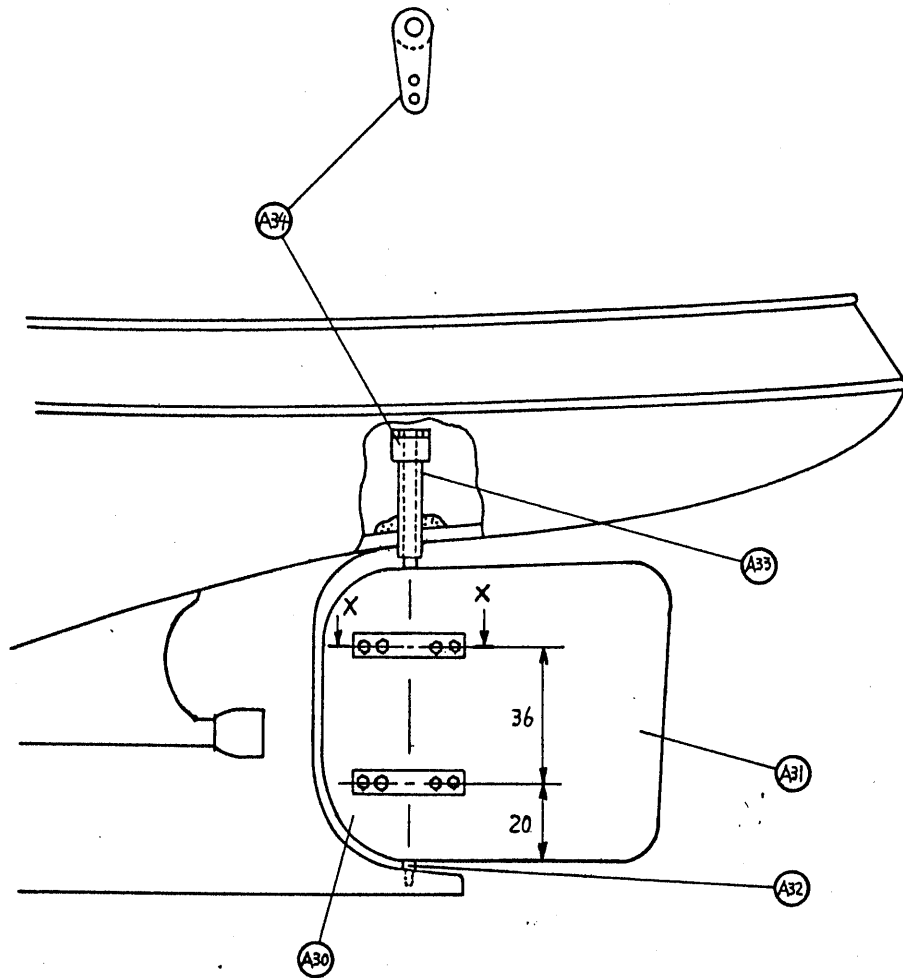
2. A25、A29を②で接着します。

3. 舵取付穴を図に従いあけます。



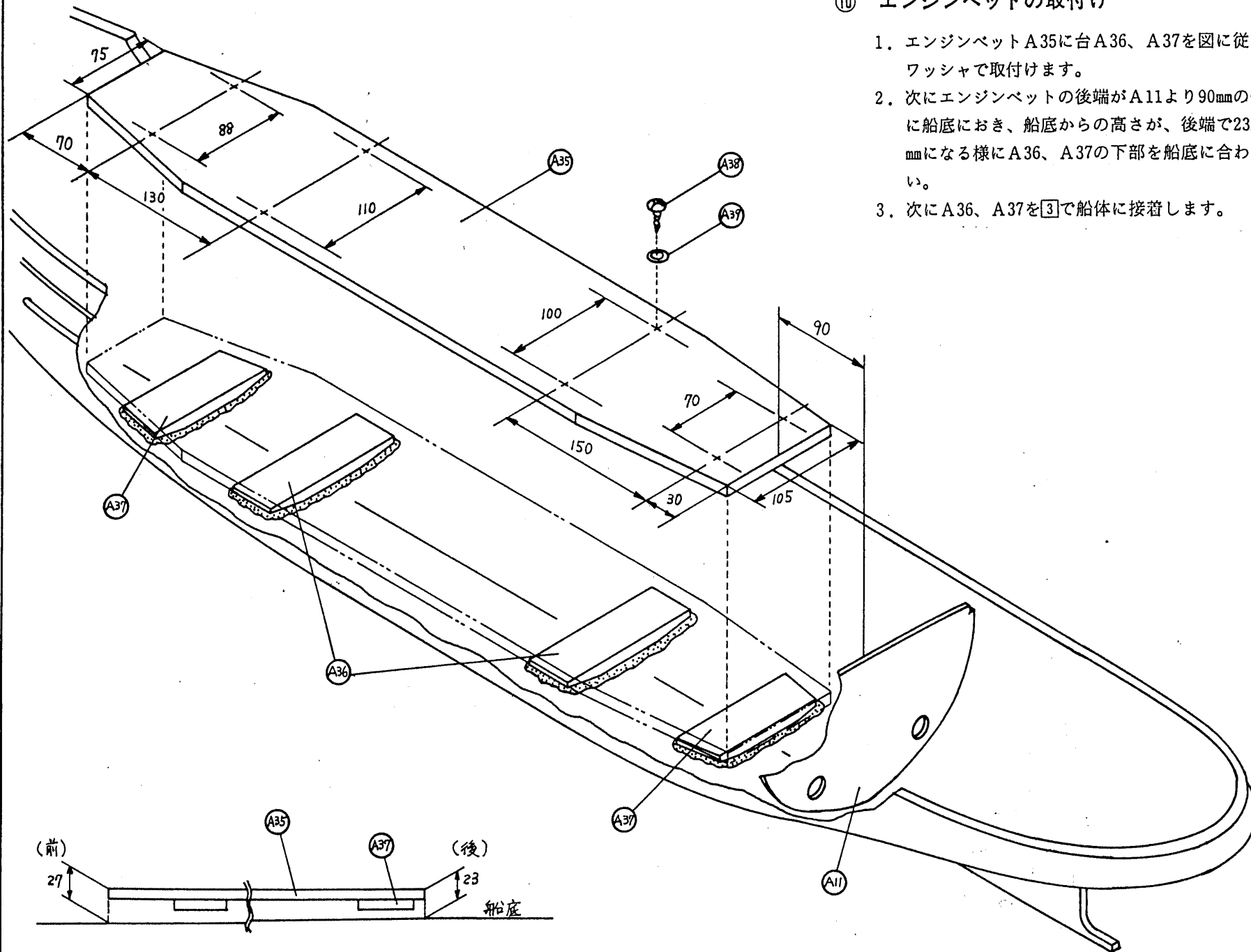
⑨ 舵取付け

1. 舵取付けの前に38Pの〔7〕バランス調整の図を参照し、船体塗装を行なって下さい。
2. 舵軸A32にA30及びA31を加工し〔3〕で接着します。
この時、つなぎ目がなめらかになる様に〔3〕を盛り付けて下さい。
3. 舵補強板A81を図に従い取り付けます。
(2φ穴をあけ、E25、E21で固定します)
4. 船体の穴にさし入れ舵軸受A33をさし込み、A33を船体に〔3〕で固定します。
5. 舵アームA34を取付けます。



⑩ エンジンベットの取付け

1. エンジンベット A35に台 A36、A37を図に従い木ネジと平ワッシャで取付けます。
2. 次にエンジンベットの後端が A11より90mmの位置になる様に船底におき、船底からの高さが、後端で23mm、前端で27mmになる様に A36、A37の下部を船底に合わせ削って下さい。
3. 次に A36、A37を③で船体に接着します。

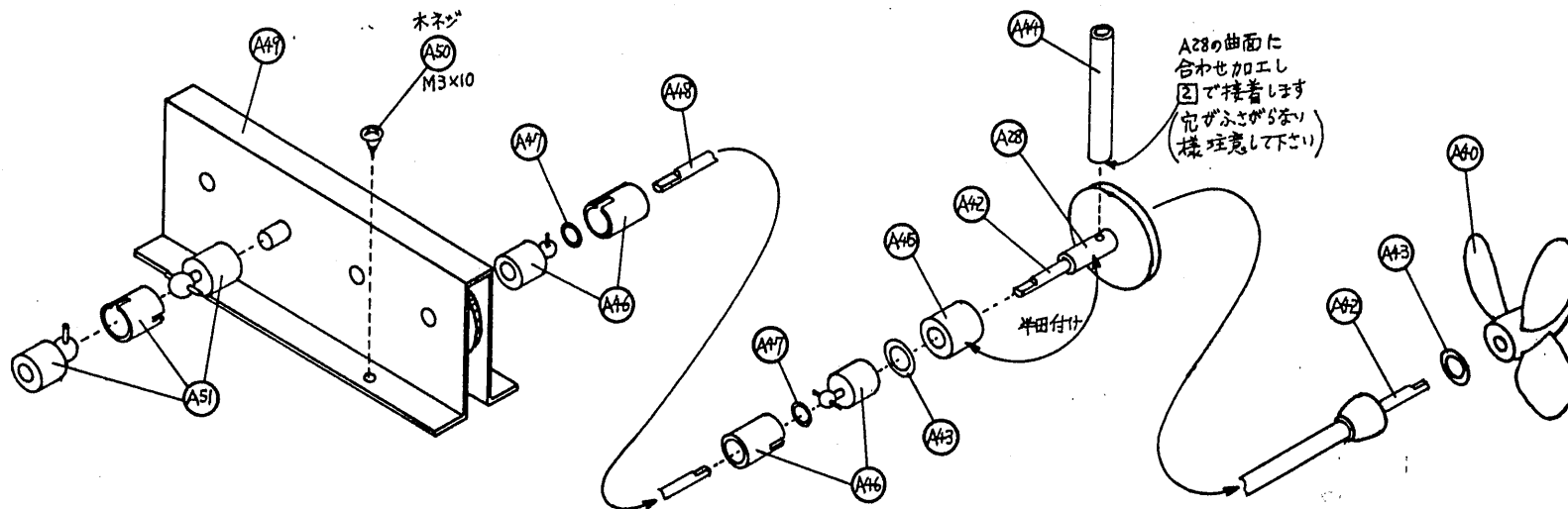
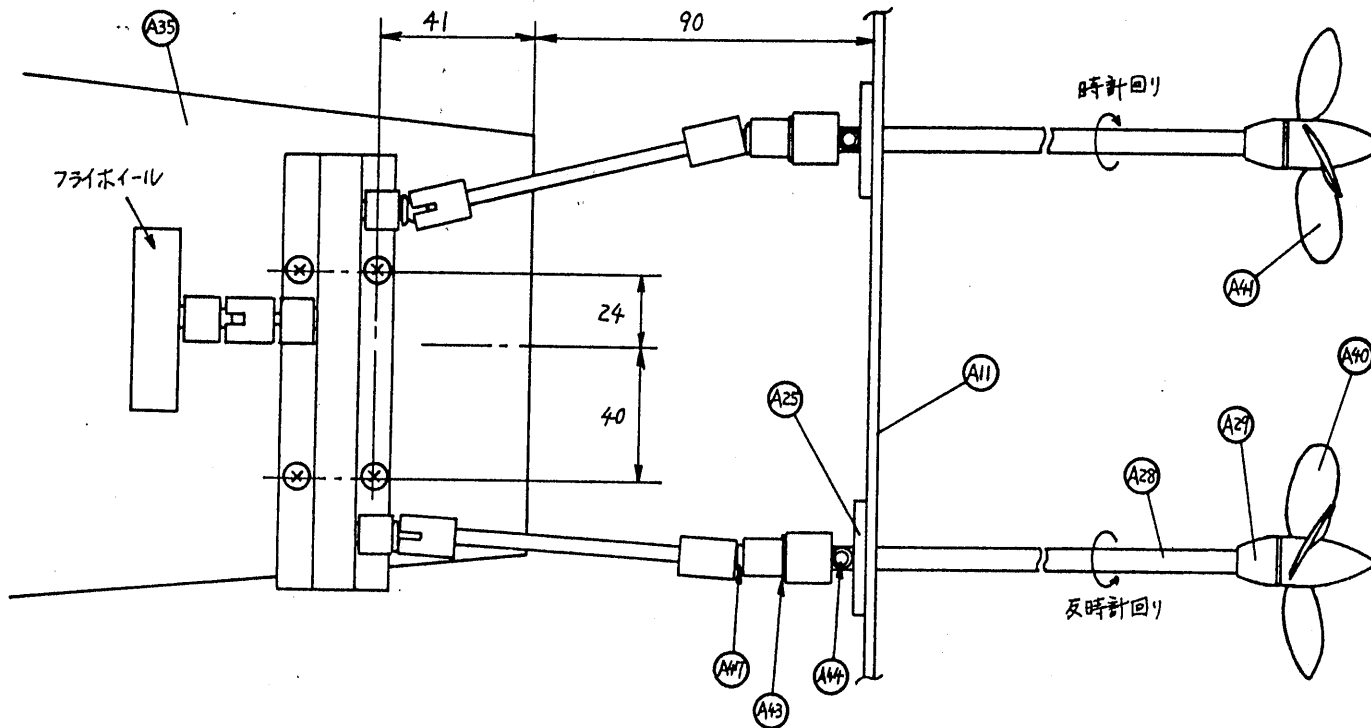


⑪ スクリュー及び2連ギアの取付け

1. スクリューA40、A41、プロペラシャフト
①A42、ワッシャA43を取付けます。
2. A45をA28に半田付けし、注油パイプA44
を②で接着します。
3. 図に従い、ジョイント及び2連ギアを仮止
めし、各ジョイントが軽く回ることを確認
して下さい。

ジョイントはややガタ目にします。

〔エンジンの位置は、ギアの位置が決
まれば、A51のジョイントが軽く動
く位置で定めます。〕

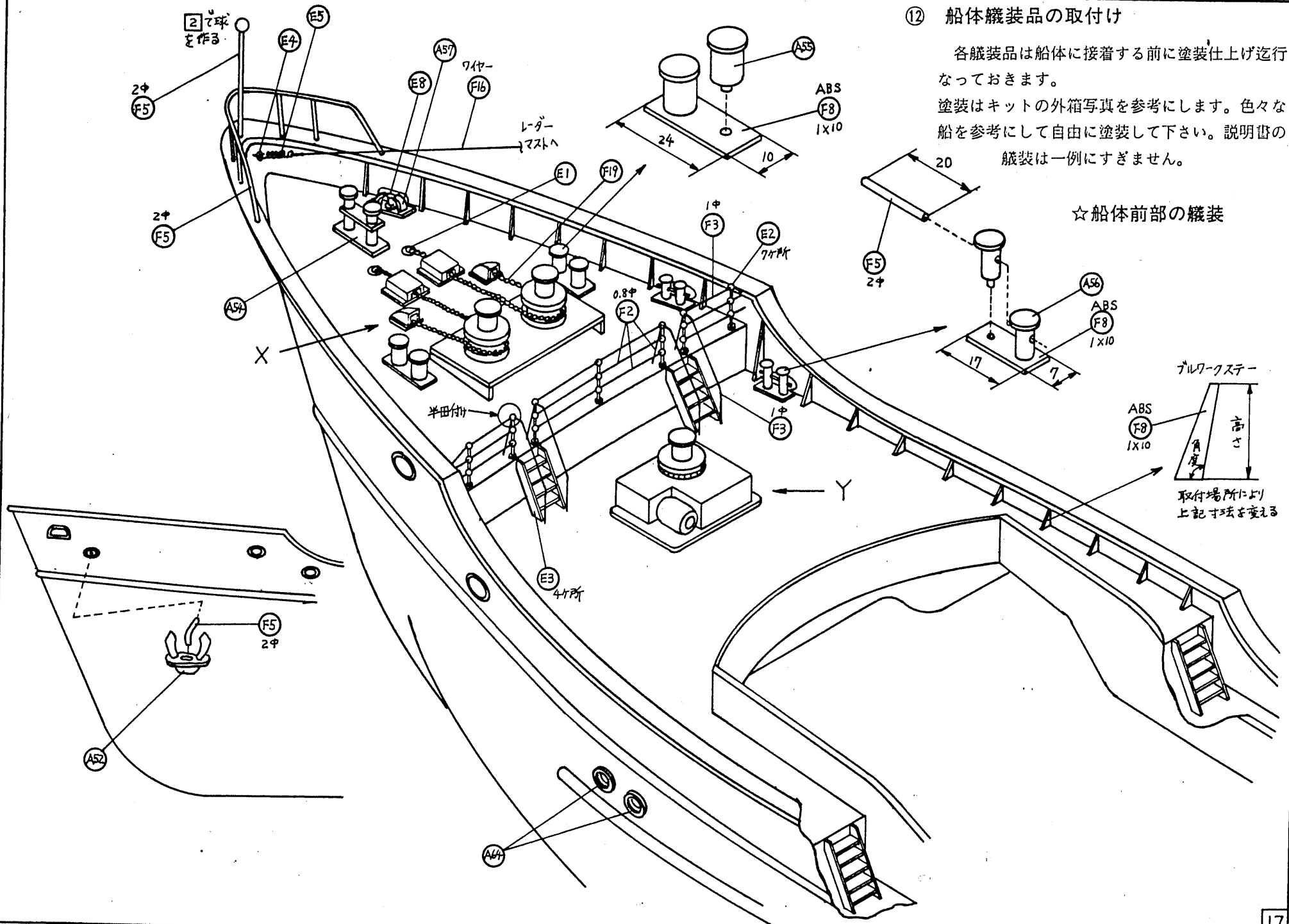


⑫ 船体艤装品の取付け

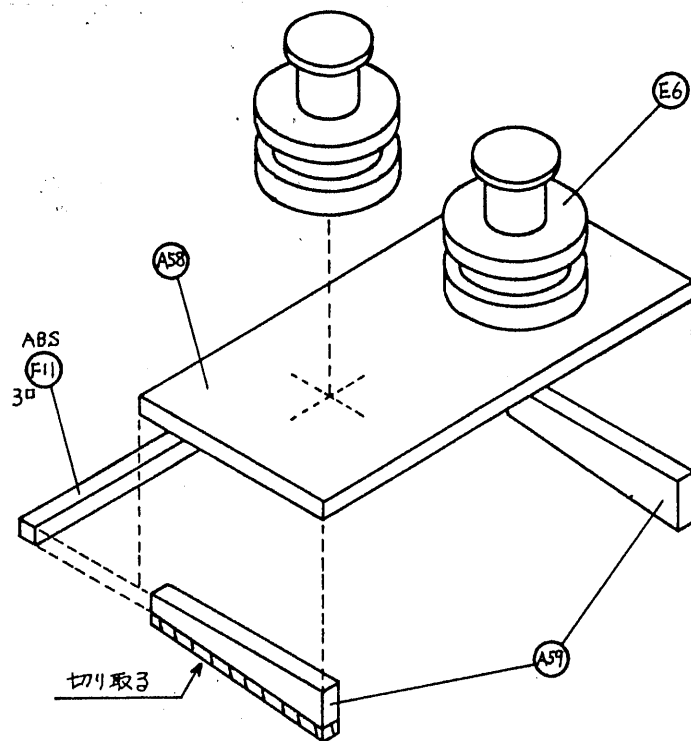
各艀装品は船体に接着する前に塗装仕上げ迄行なっておきます。

塗装はキットの外箱写真を参考にします。色々な船を参考にして自由に塗装して下さい。説明書の
20 艀装は一例にすぎません。

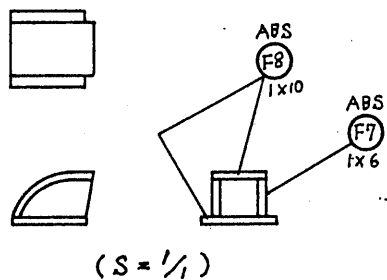
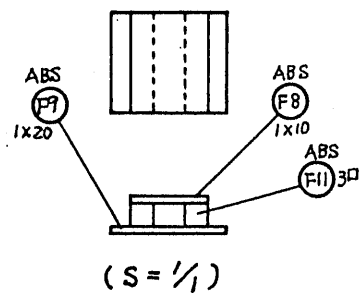
☆船体前部の艤装



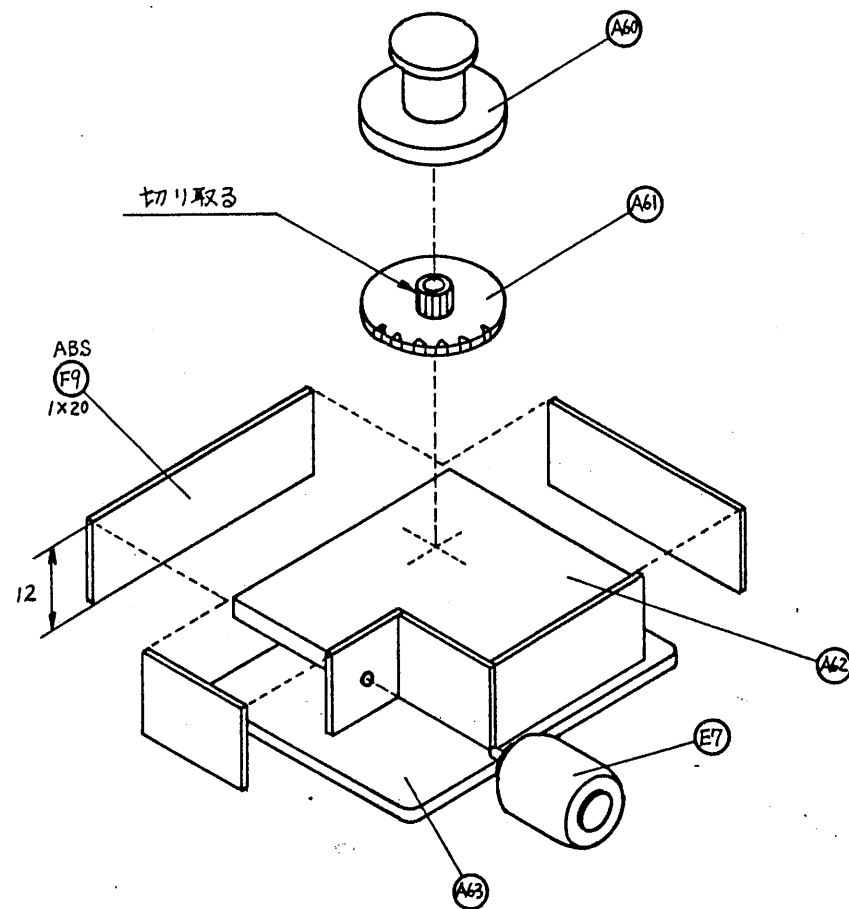
☆ X、Y 部の部品



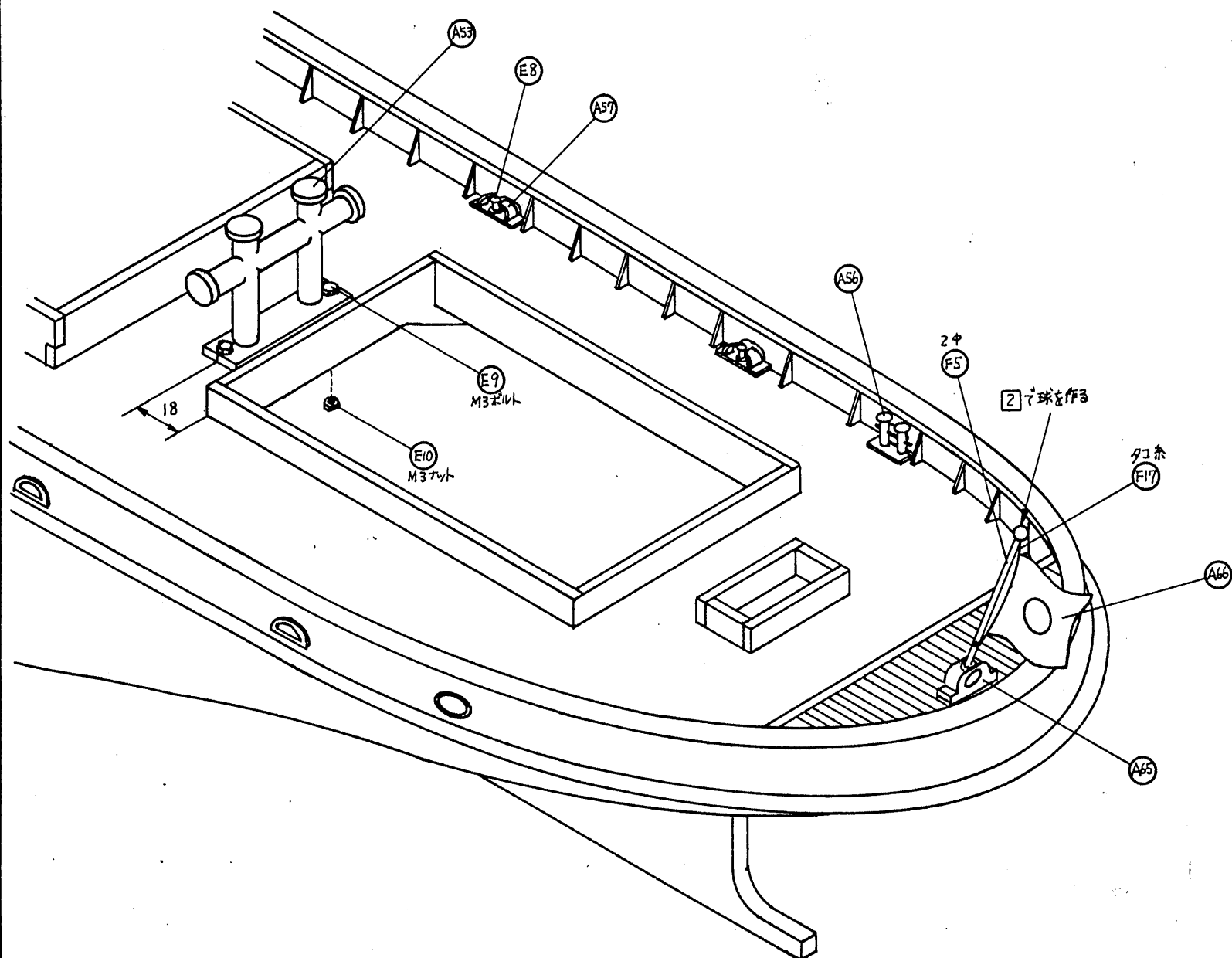
X 部



Y 部



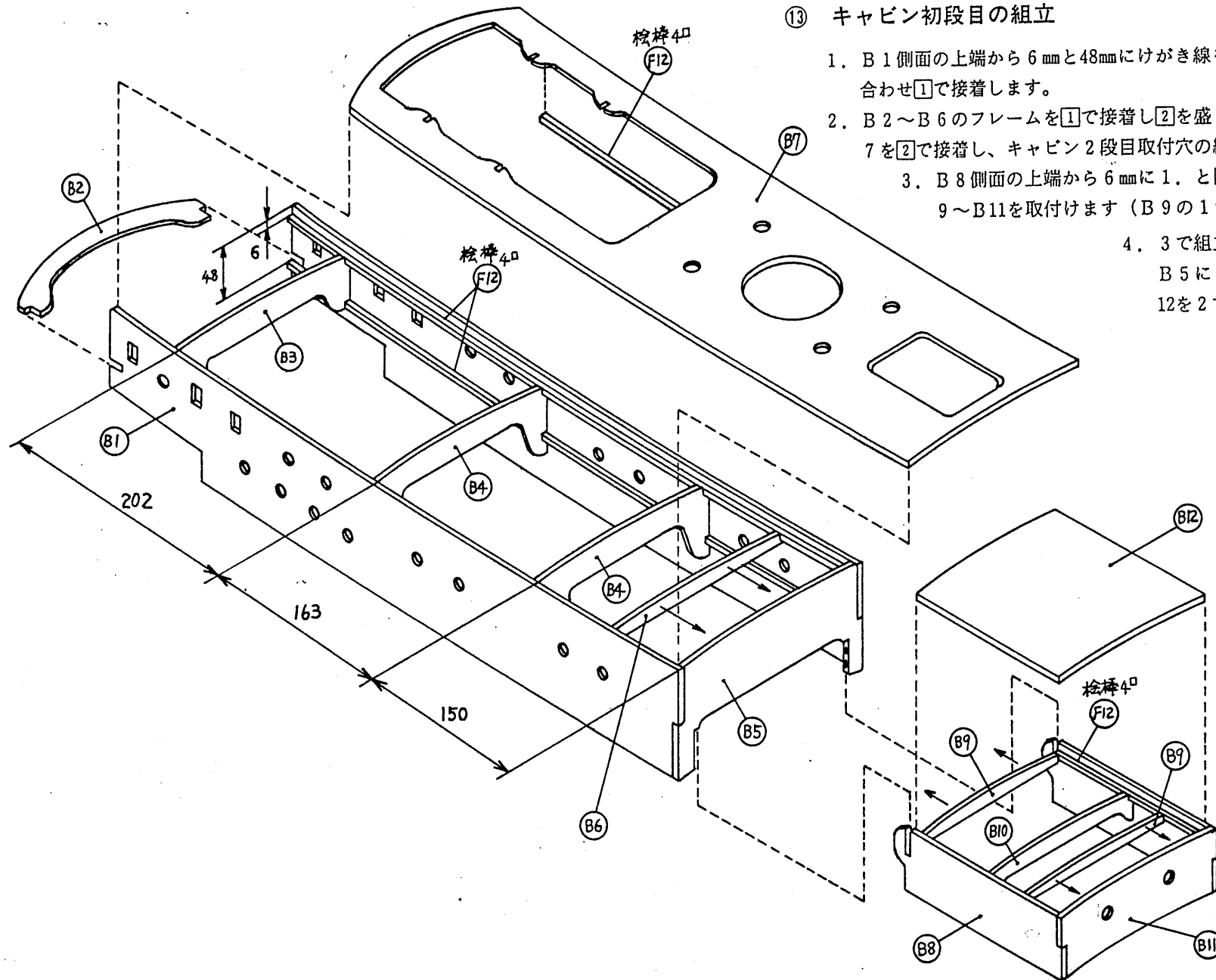
☆船体後部の艤装



〔3〕キャビン組立

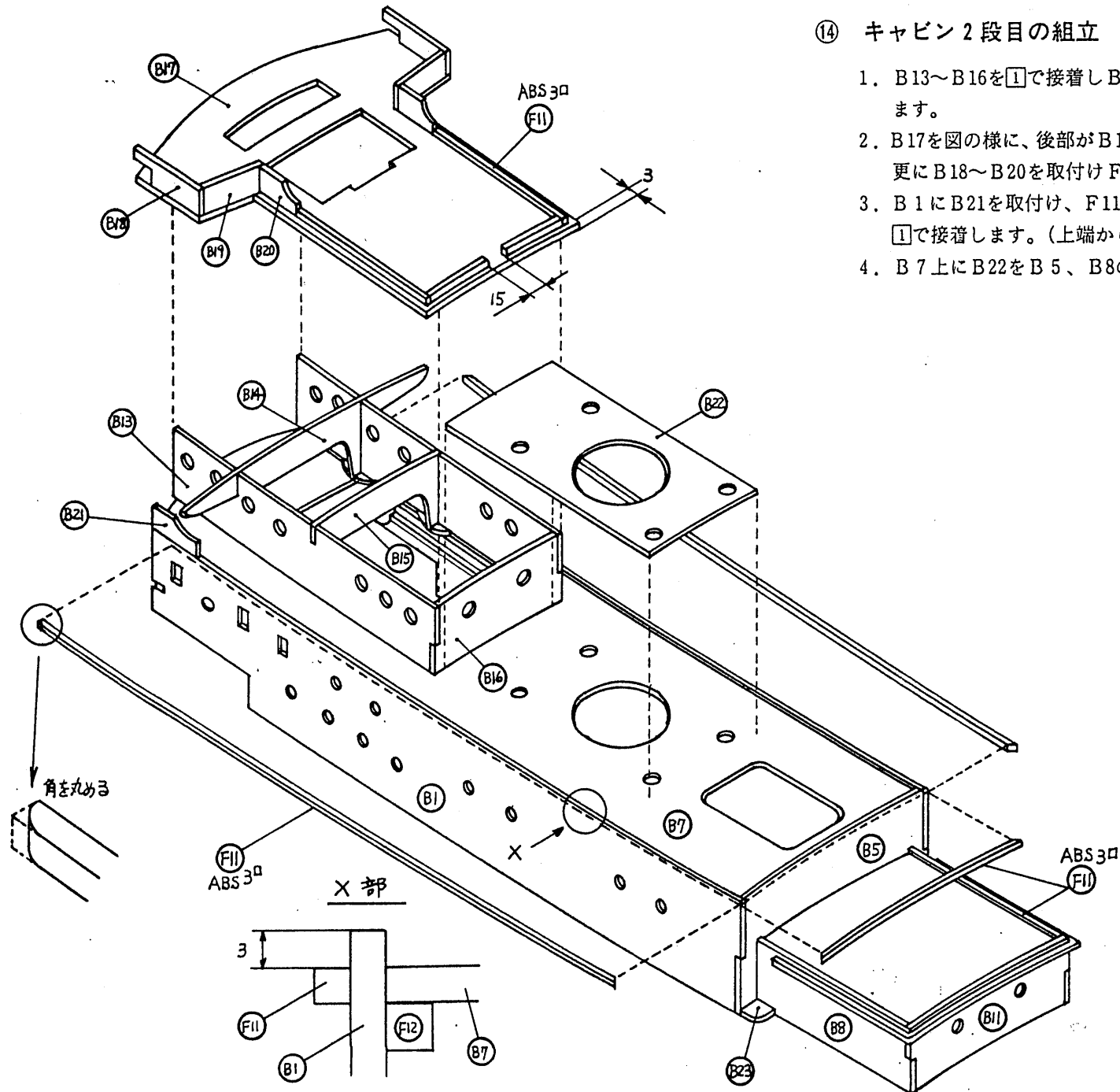
⑬ キャビン初段目の組立

1. B 1 側面の上端から 6 mm と 48 mm にけがき線を入れ F 12 桧棒の上部を線に合わせ①で接着します。
2. B 2 ～ B 6 のフレームを①で接着し②を盛り付けて補強します。更に B 7 を②で接着し、キャビン 2 段目取付穴の縁を F 12 桧棒で補強します。
3. B 8 側面の上端から 6 mm に 1. と同様に F 12 桧棒を取付け、B 9 ～ B 11 を取付けます (B 9 の 1 つは B 5 に接着します)
4. 3 で組立てたものを B 5 に 2 で接着し B 12 を 2 で取付けます。



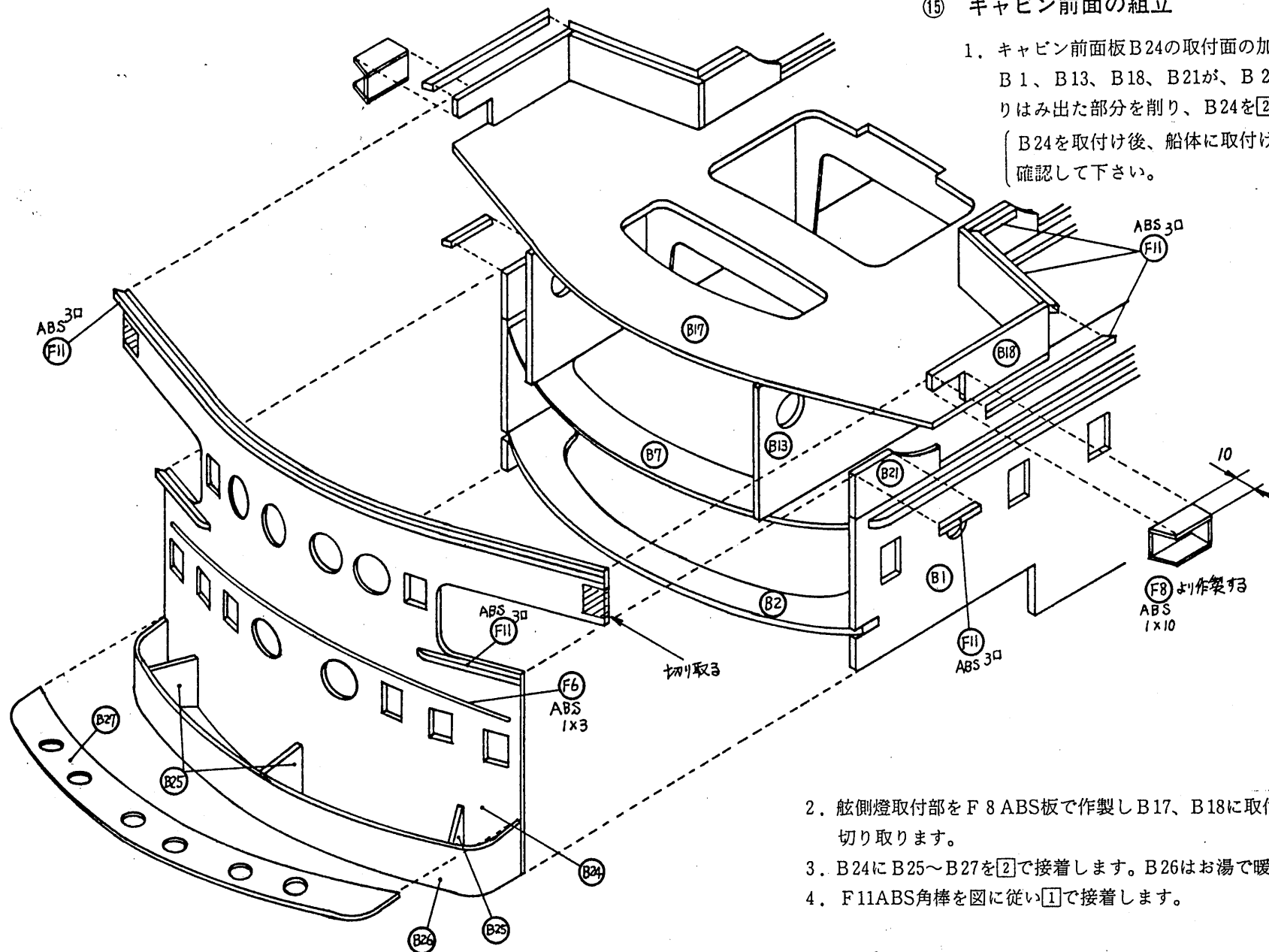
⑭ キャビン 2 段目の組立

1. B13～B16を①で接着し B7 の溝に B14及び B15を入れ②で補強します。
2. B17を図の様に、後部が B16より 3mm はみ出る様に②で接着します。
更に B18～B20を取付け F11ABS角棒を図に従い①で接着します。
3. B1にB21を取付け、F11ABS角棒をキャビン初段目の側面後面に①で接着します。(上端から 3mm 位のところに取付けて下さい。)
4. B7 上に B22を B5、B8の側面に B23をそれぞれ②で接着します。



⑮ キャビン前面の組立

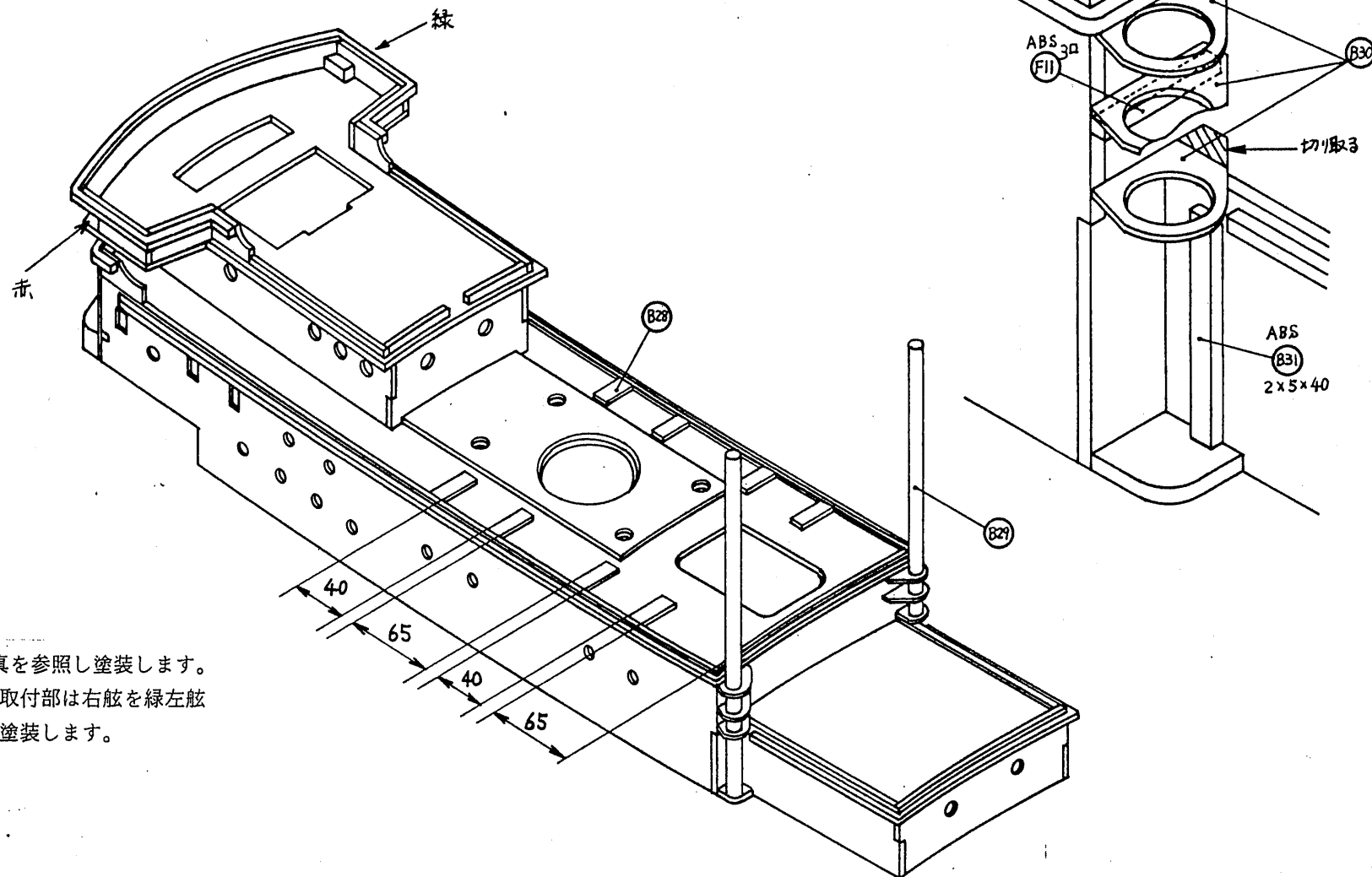
1. キャビン前面板B24の取付面の加工をします。
B1、B13、B18、B21が、B2、B7、B17の曲面よりはみ出た部分を削り、B24を②で接着します。
(B24を取付け後、船体に取り付け、ガタ等確認して下さい。)



2. 舷側燈取付部をF8 ABS板で作製しB17、B18に取付けB24の斜線部を切り取ります。
3. B24にB25～B27を②で接着します。B26はお湯で暖めながら曲げます。
4. F11ABS角棒を図に従い①で接着します。

⑩ ポートダビット台、及び後部ポストの取付け

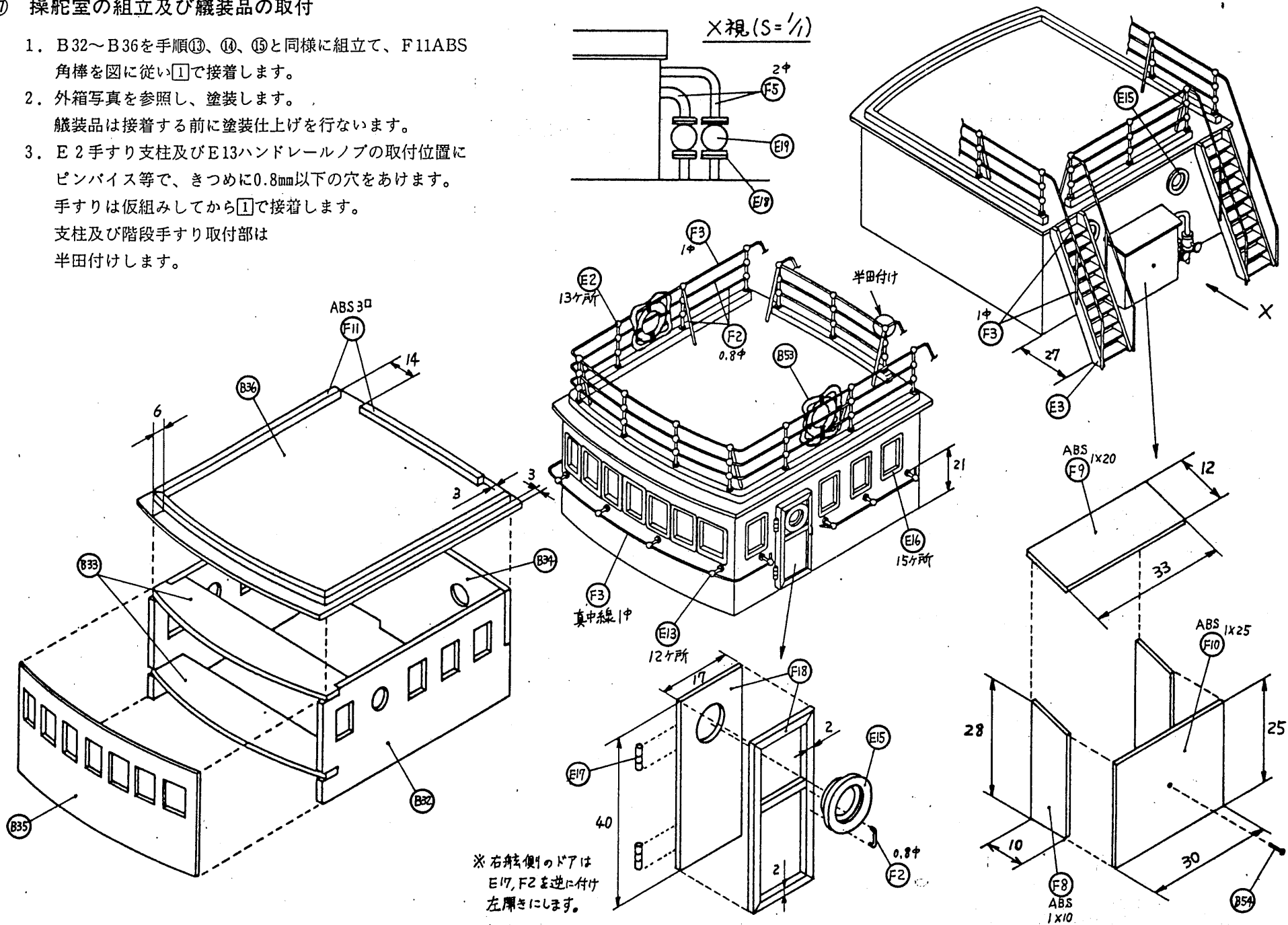
1. B28を図に従い②で接着します。
2. B30、B31を図に従い仮止めし、B29後部ポストを取付け垂直を確認後、②で補強します。



3. 外箱写真を参照し塗装します。
舷側燈取付部は右舷を緑左舷
を赤に塗装します。

⑪ 操舵室の組立及び艀装品の取付

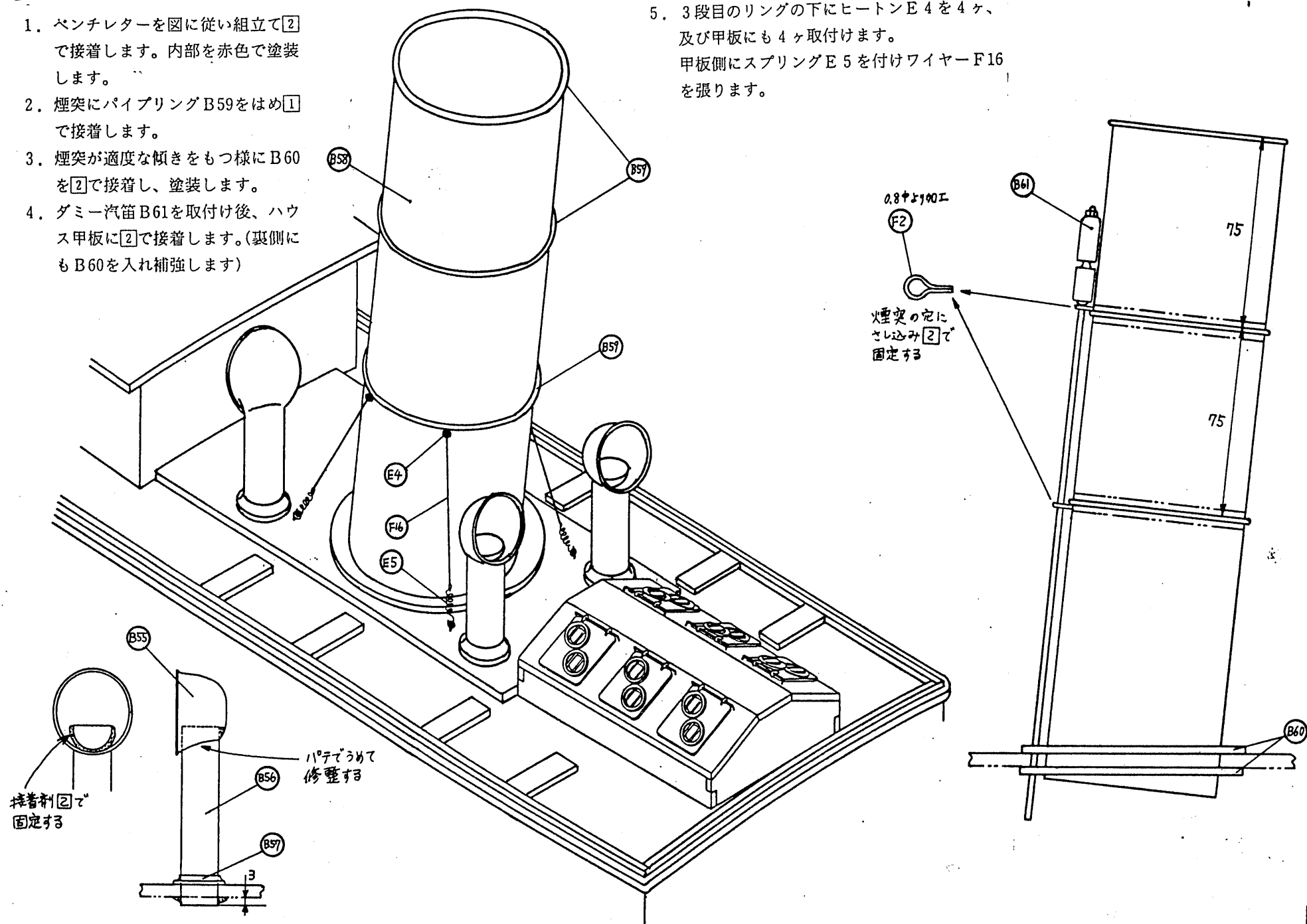
1. B32～B36を手順⑬、⑭、⑮と同様に組立て、F11ABS角棒を図に従い①で接着します。
2. 外箱写真を参照し、塗装します。
艀装品は接着する前に塗装仕上げを行ないます。
3. E2手すり支柱及びE13ハンドレールノブの取付位置にピンバイス等で、きつめに0.8mm以下の穴をあけます。
手すりは仮組みしてから①で接着します。
支柱及び階段手すり取付部は
半田付けします。

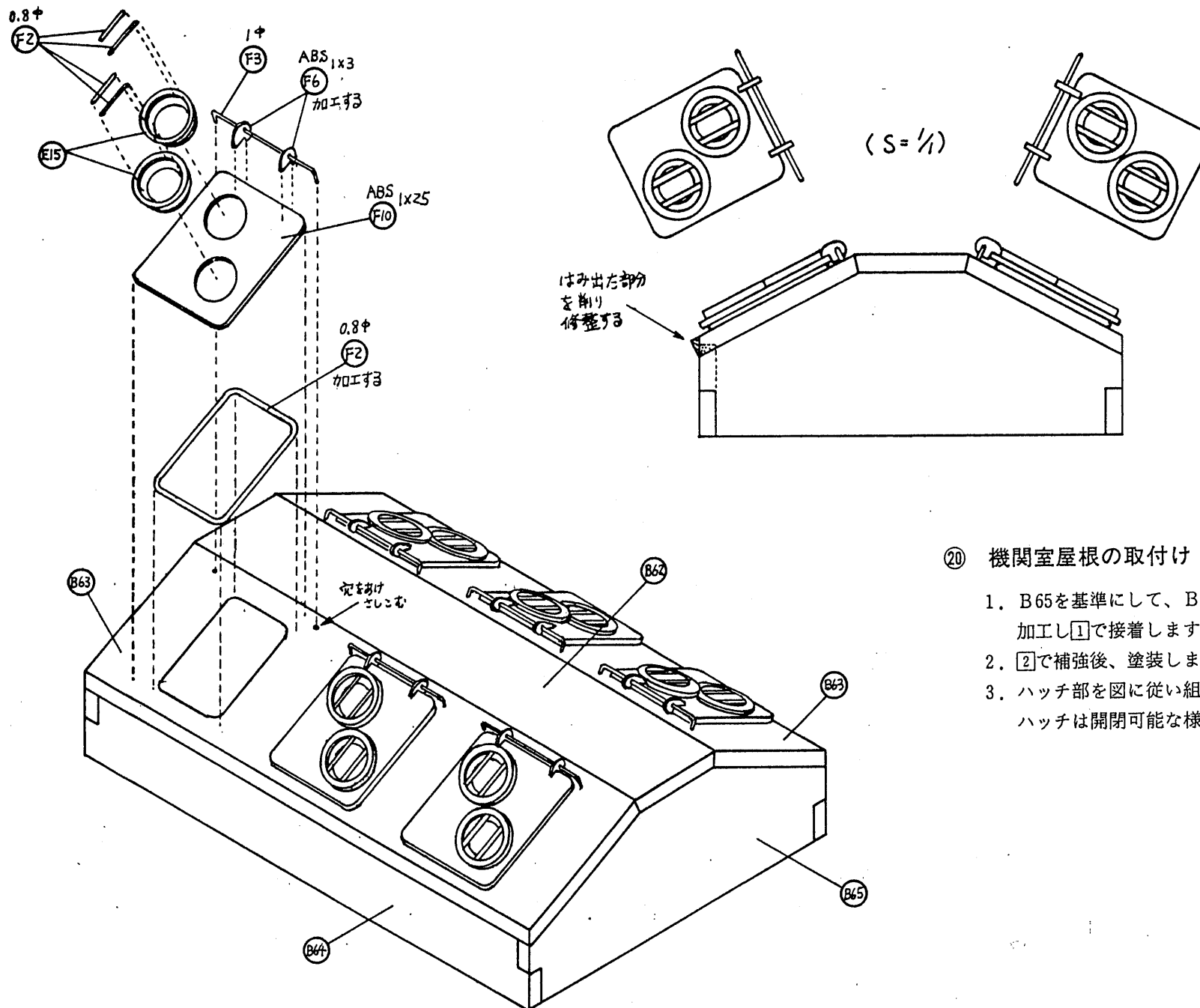


①⑨ ペンチレター及び煙突の取付け

1. ペンチレターを図に従い組立て②で接着します。内部を赤色で塗装します。
2. 煙突にパイプリングB59をはめ①で接着します。
3. 煙突が適度な傾きをもつ様にB60を②で接着し、塗装します。
4. ダミー汽笛B61を取付け後、ハウス甲板に②で接着します。(裏側にもB60を入れ補強します)

5. 3段目のリングの下にヒートンE4を4ヶ、及び甲板にも4ヶ取付けます。
甲板側にスプリングE5を付けワイヤーF16を張ります。



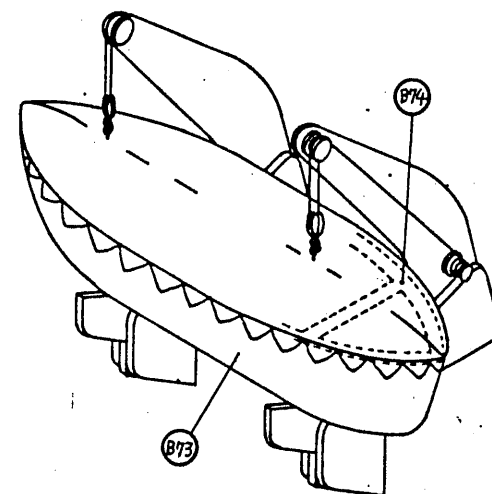
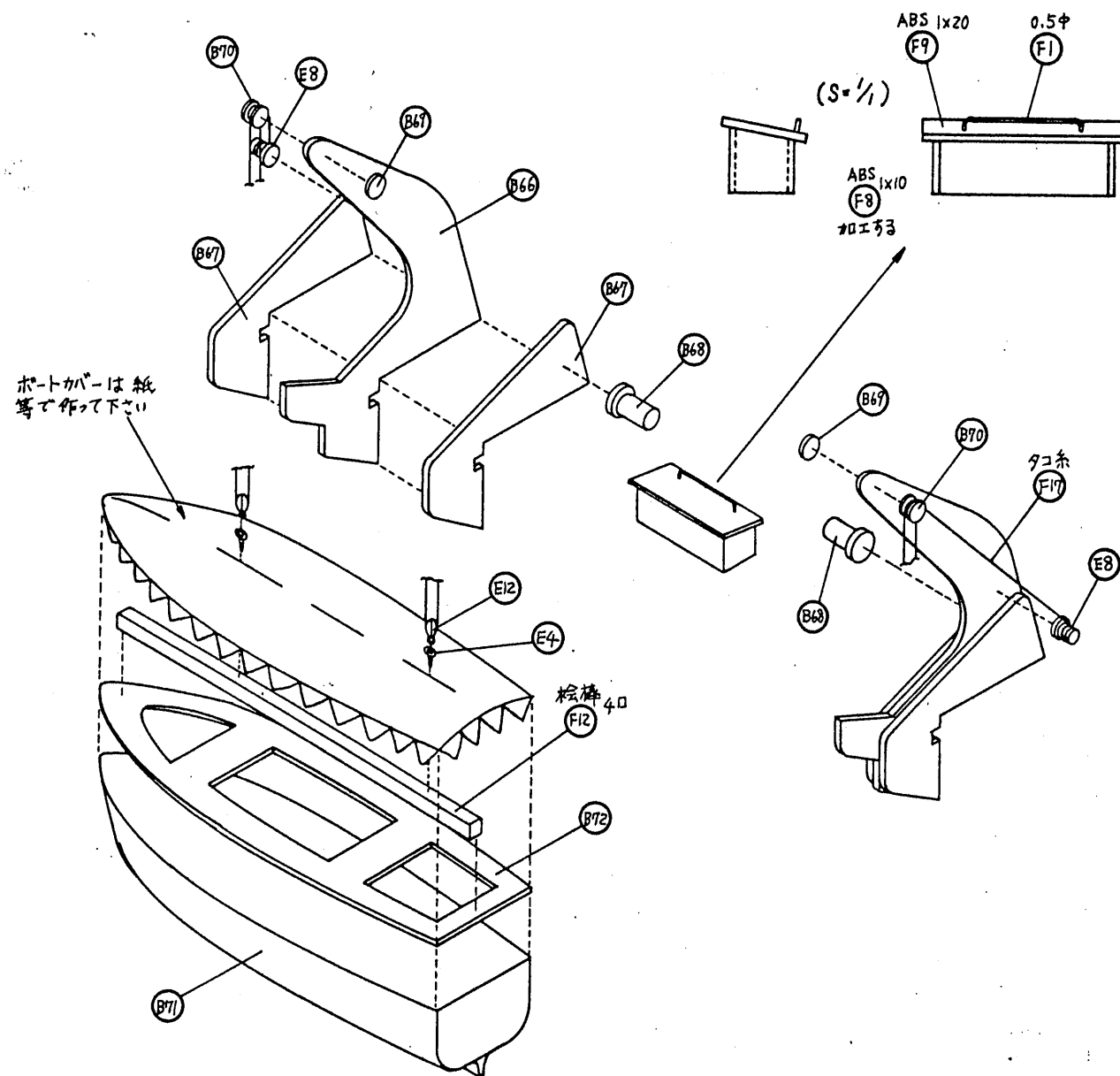


②0 機関室屋根の取付け

1. B65を基準にして、B62～B64の各接触面を加工し①で接着します。
2. ②で補強後、塗装します。
3. ハッチ部を図に従い組立て、取付けます。
ハッチは開閉可能な様にします。

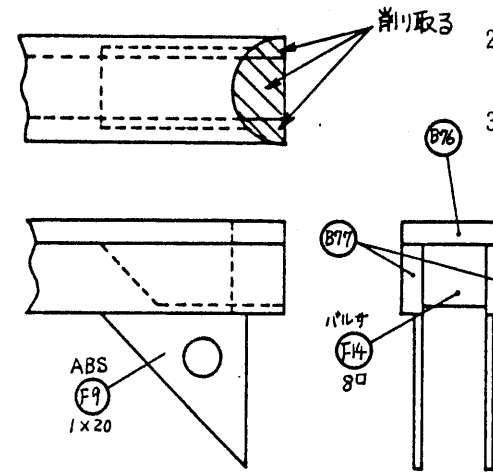
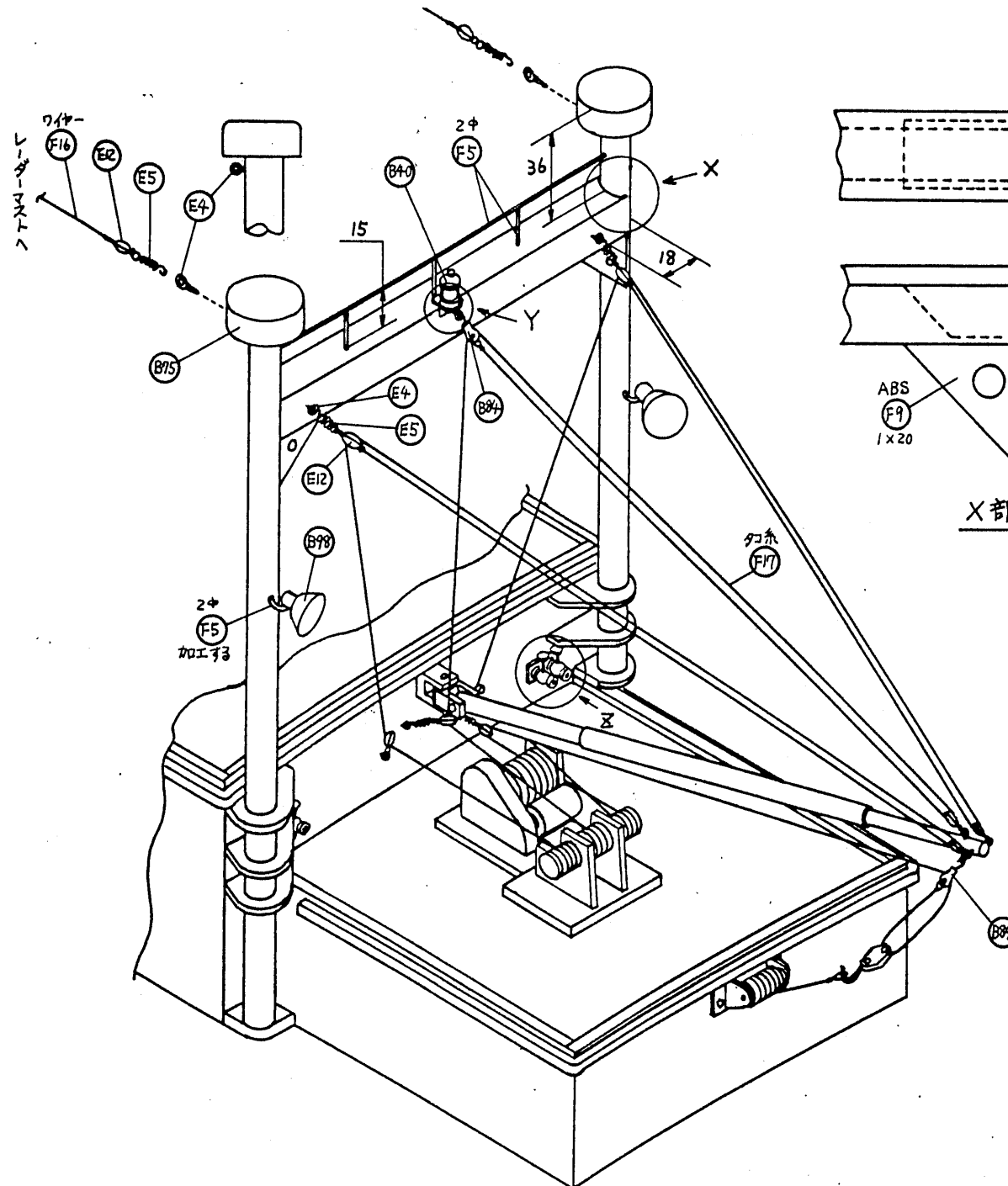
②救命ボートの取付

1. ボートダビットを図に従い組立て、B28
ボートダビット台に②で接着します。
2. モーターボート及び手こぎボートを図に
従い2ヶずつ作製し、ボートダビットに
取付けます。
3. 救命胴衣箱をABS板等で4ヶ作製し、ボ
ートわきの甲板に取付けます。

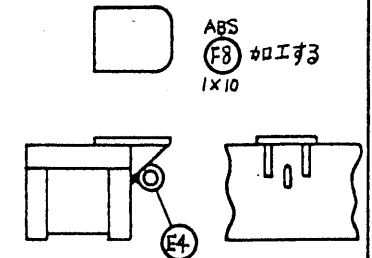


②② クレーンの取付け

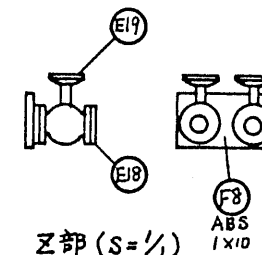
1. B75ベンチレーター及びX部を図に従い組立て、ポストに②で接着します。
2. クレーン各部品を図に従い組立て取付けます。
3. その他艀装品を図に従い取付けます。



X部 (S = 1/1)

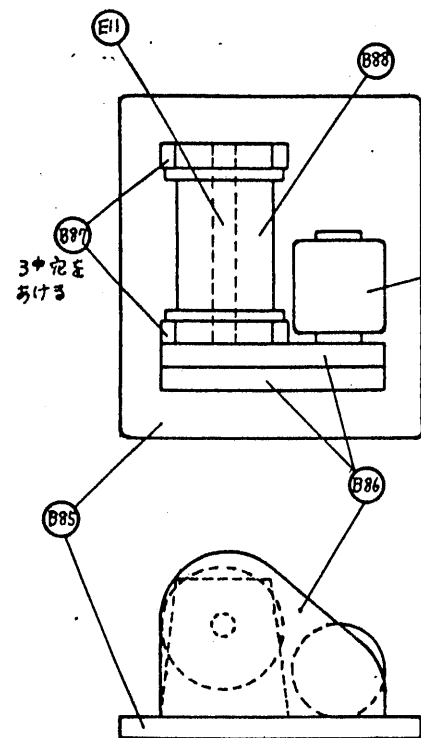


Y部 (S=1/1)

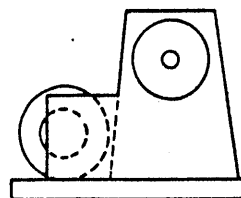
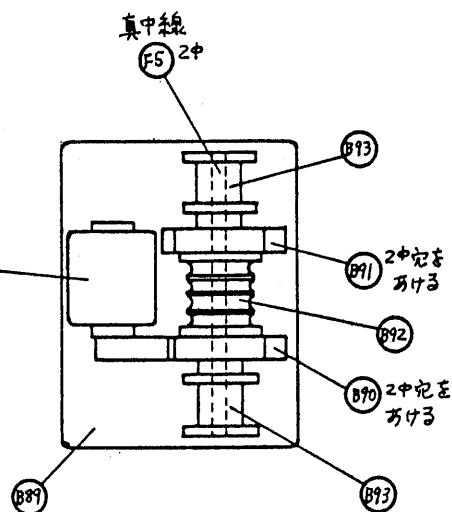
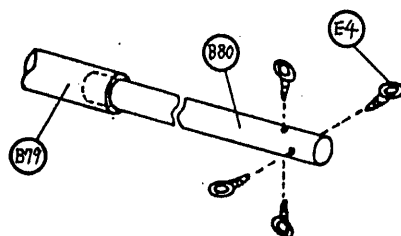


Σ部 (S=1/1)
(2ヶ所)

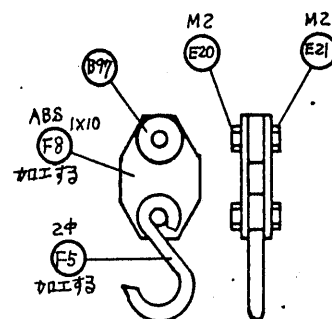
☆クレーン各部品



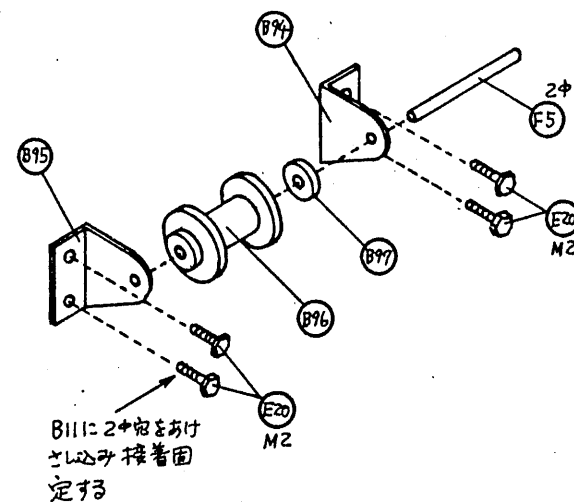
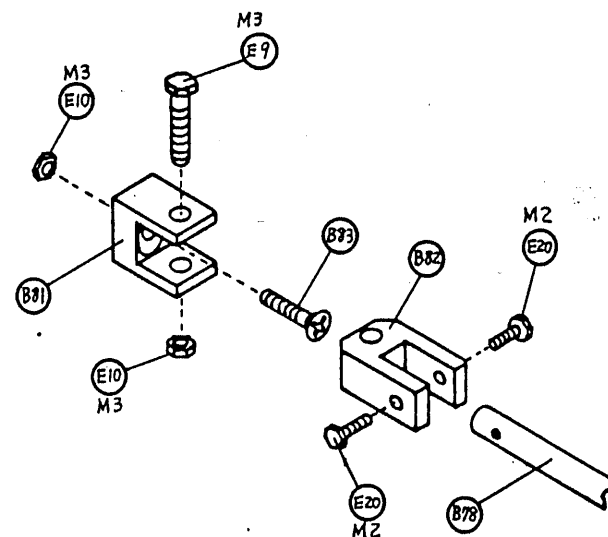
(S = 1/1)



(S = 1/1)



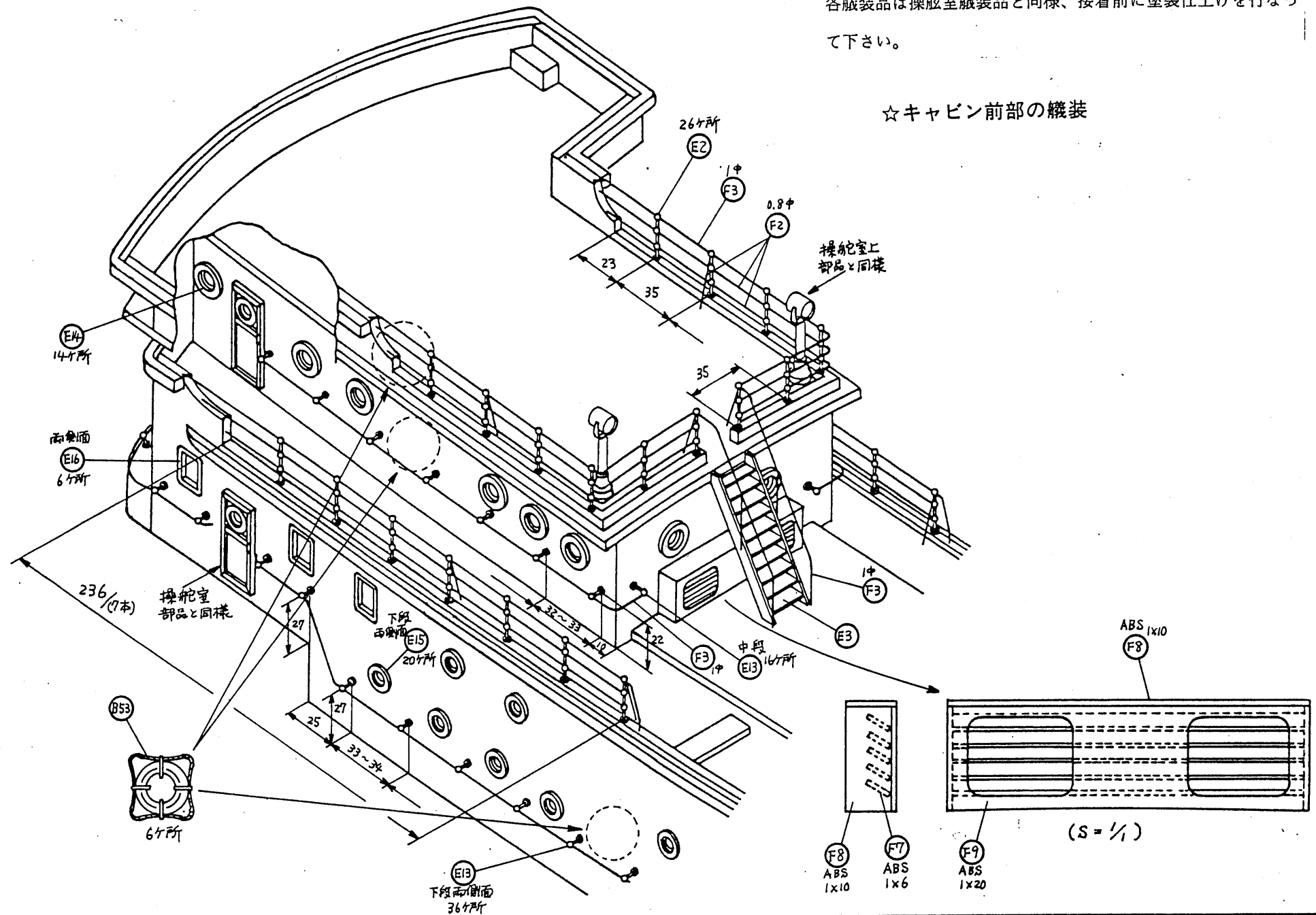
(S = 1/1)



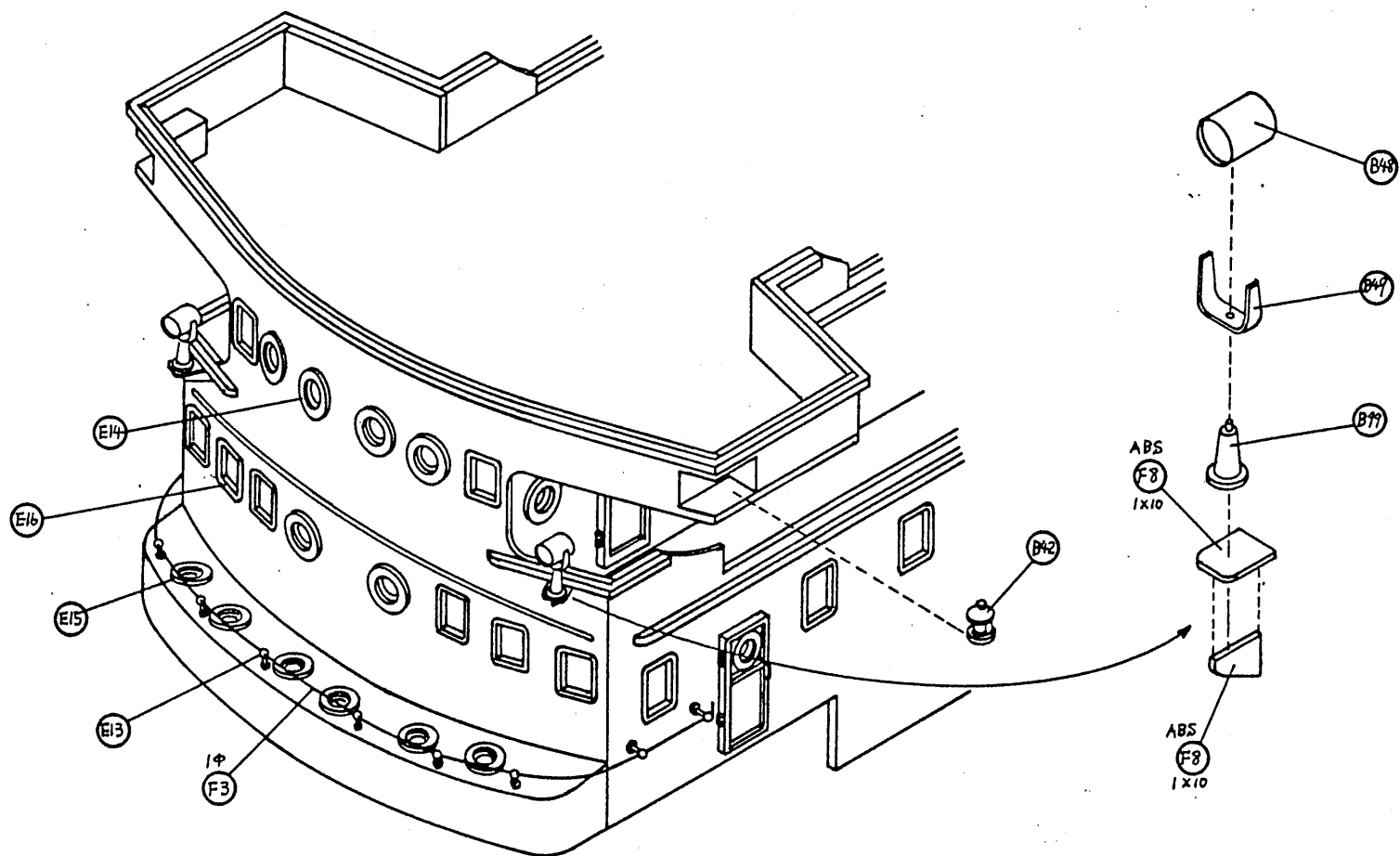
②③ キャビン艀装品の取付け

各艀装品は操舵室艀装品と同様、接着前に塗装仕上げを行な
て下さい。

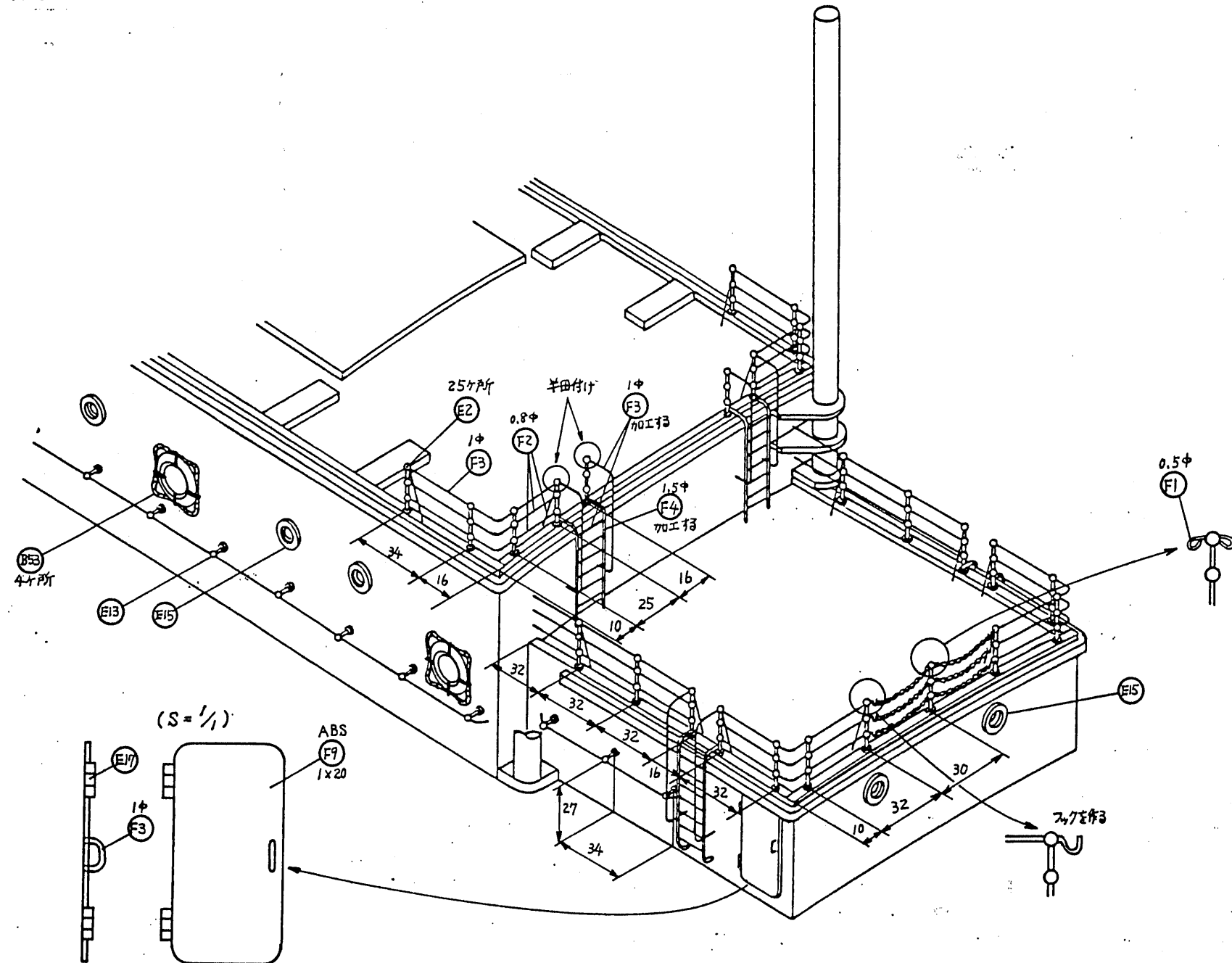
☆キャビン前部の艀装



☆キャビン前面の機装



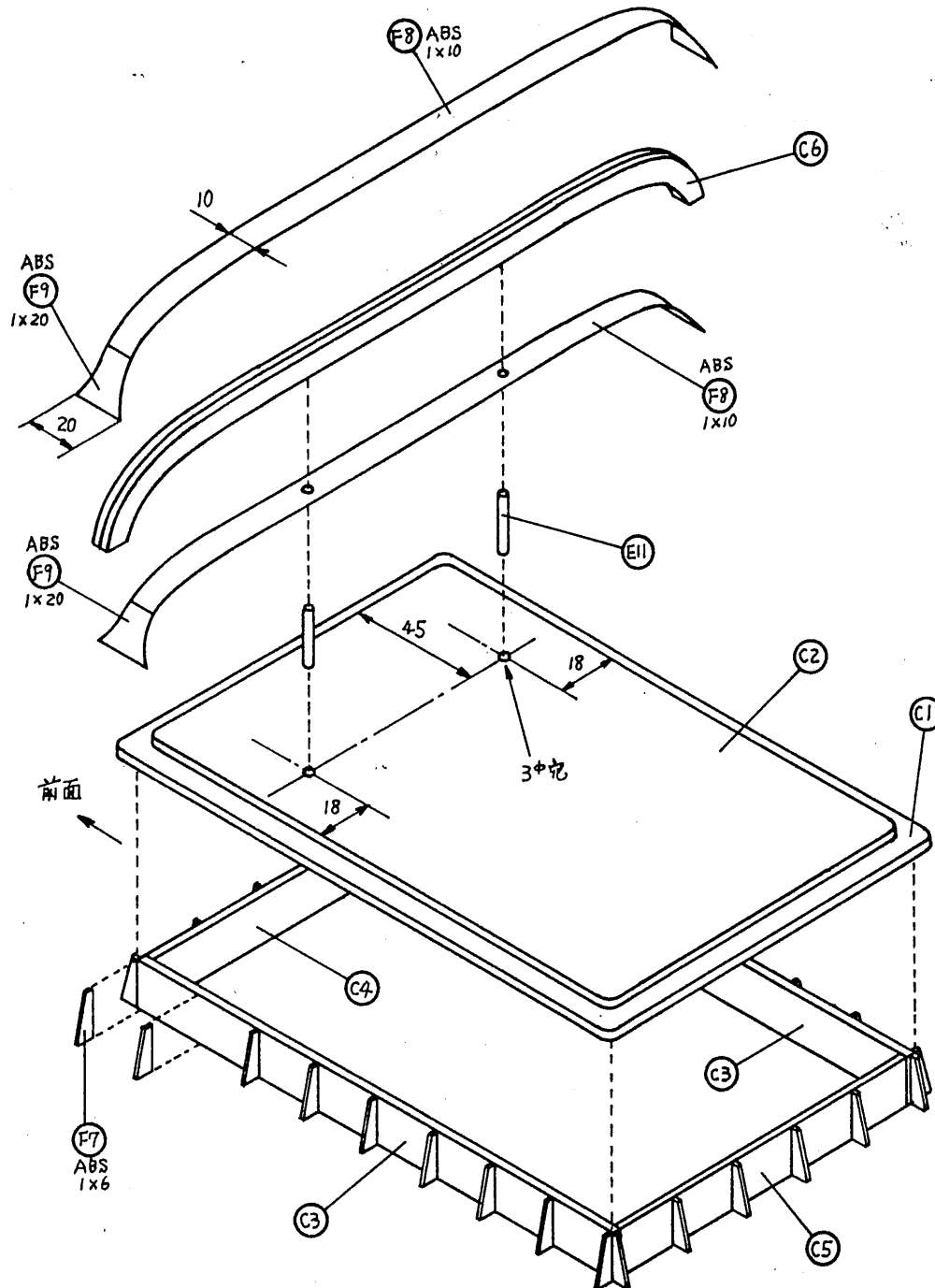
☆キャビン後部の機装



〔4〕RCハッチ組立

②4 RCハッチ組立

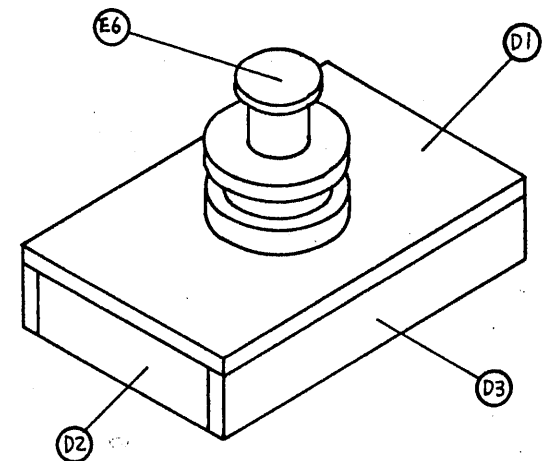
1. C1～C5を図に従い、組立てます。
2. ステーをF7 ABS板で作製し側面に取付け、塗装します。
 [C4は甲板A2に合せ下部が曲面となっている為、
 ステーの寸法が曲面に合せ異なります。]
3. トウイングビームC6を2枚合せ上下にABS板を加工し②で接着します。
4. C2面及びC6に穴をあけE11トウイングビームステーを取付けます。



〔5〕後部ハッチ組立

②5 後部ハッチ組立

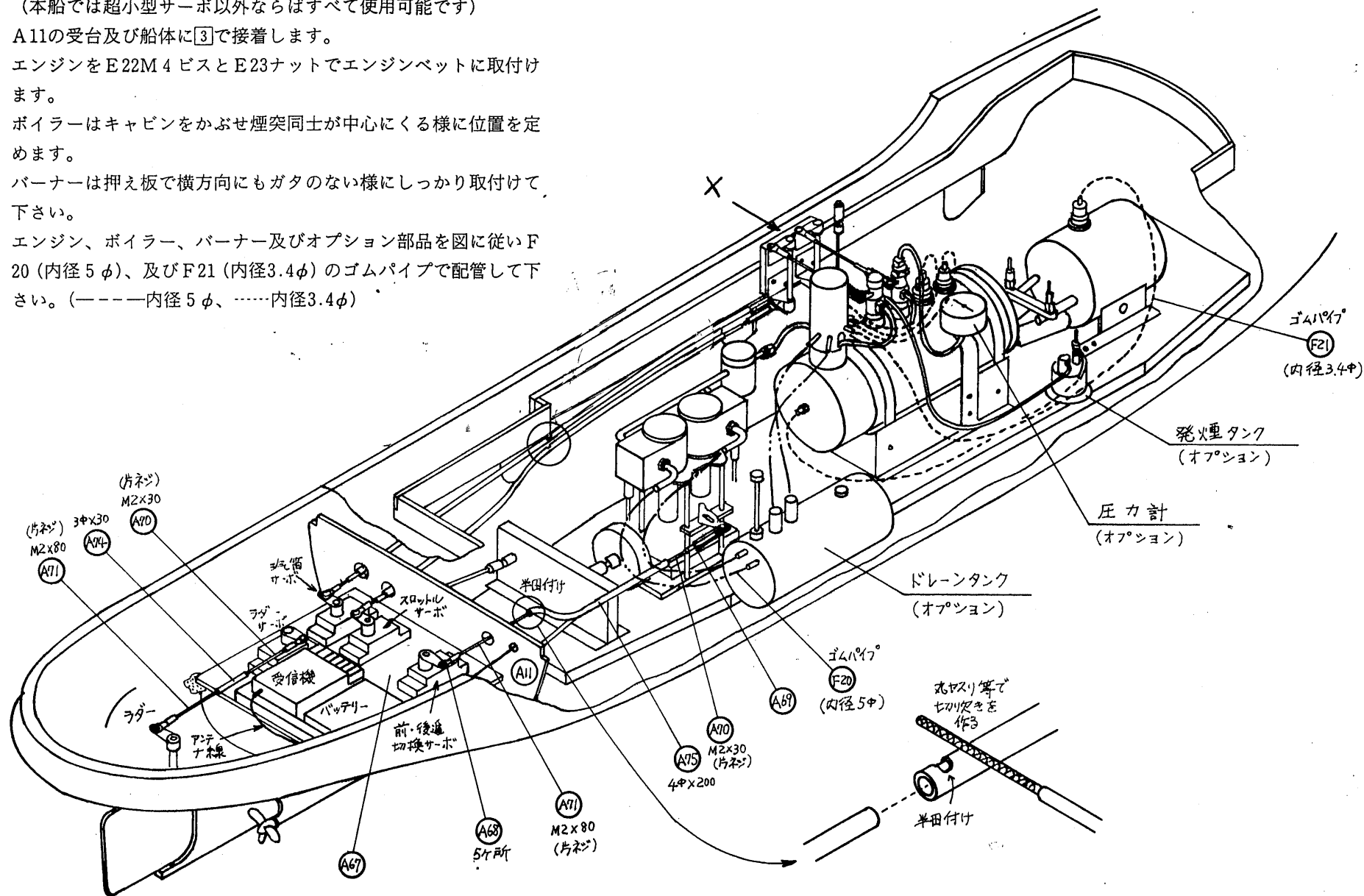
1. D1～D3を図に従い組立て、塗装します。
2. E6を塗装後①で接着します。



〔6〕RCの取付け

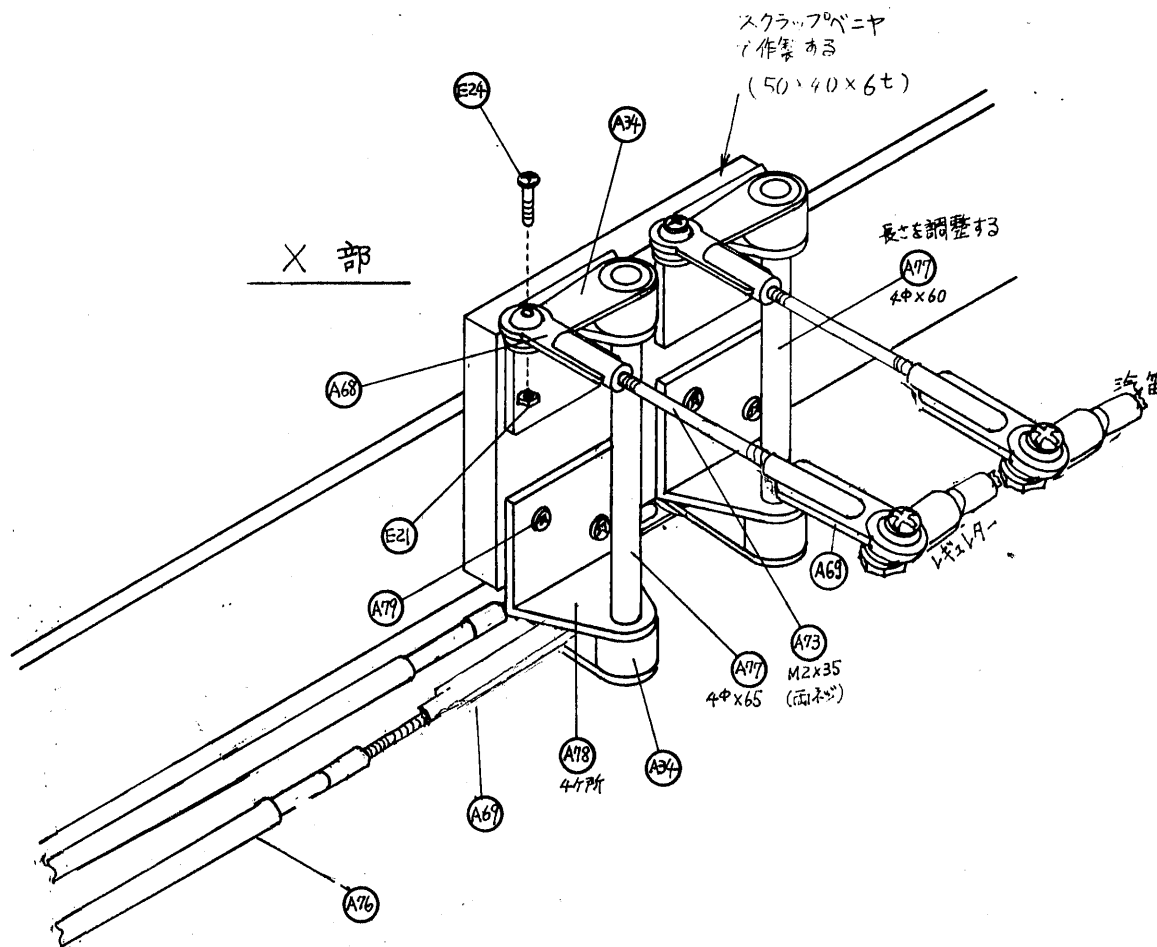
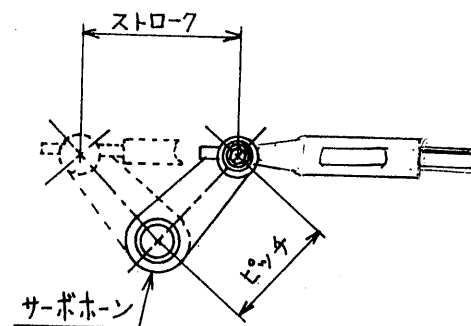
② RCの取付け

1. 使用RCに合わせサーボベットA67を加工します。
(本船では超小型サーボ以外ならばすべて使用可能です)
A11の受台及び船体に③で接着します。
2. エンジンをE22M4ビスとE23ナットでエンジンベットに取付けます。
3. ボイラーはキャビンをかぶせ煙突同士が中心にくる様に位置を定めます。
4. バーナーは押え板で横方向にもガタのない様にしっかり取付けて下さい。
5. エンジン、ボイラー、バーナー及びオプション部品を図に従いF20 (内径5φ)、及びF21 (内径3.4φ) のゴムパイプで配管して下さい。(——内径5φ、-----内径3.4φ)

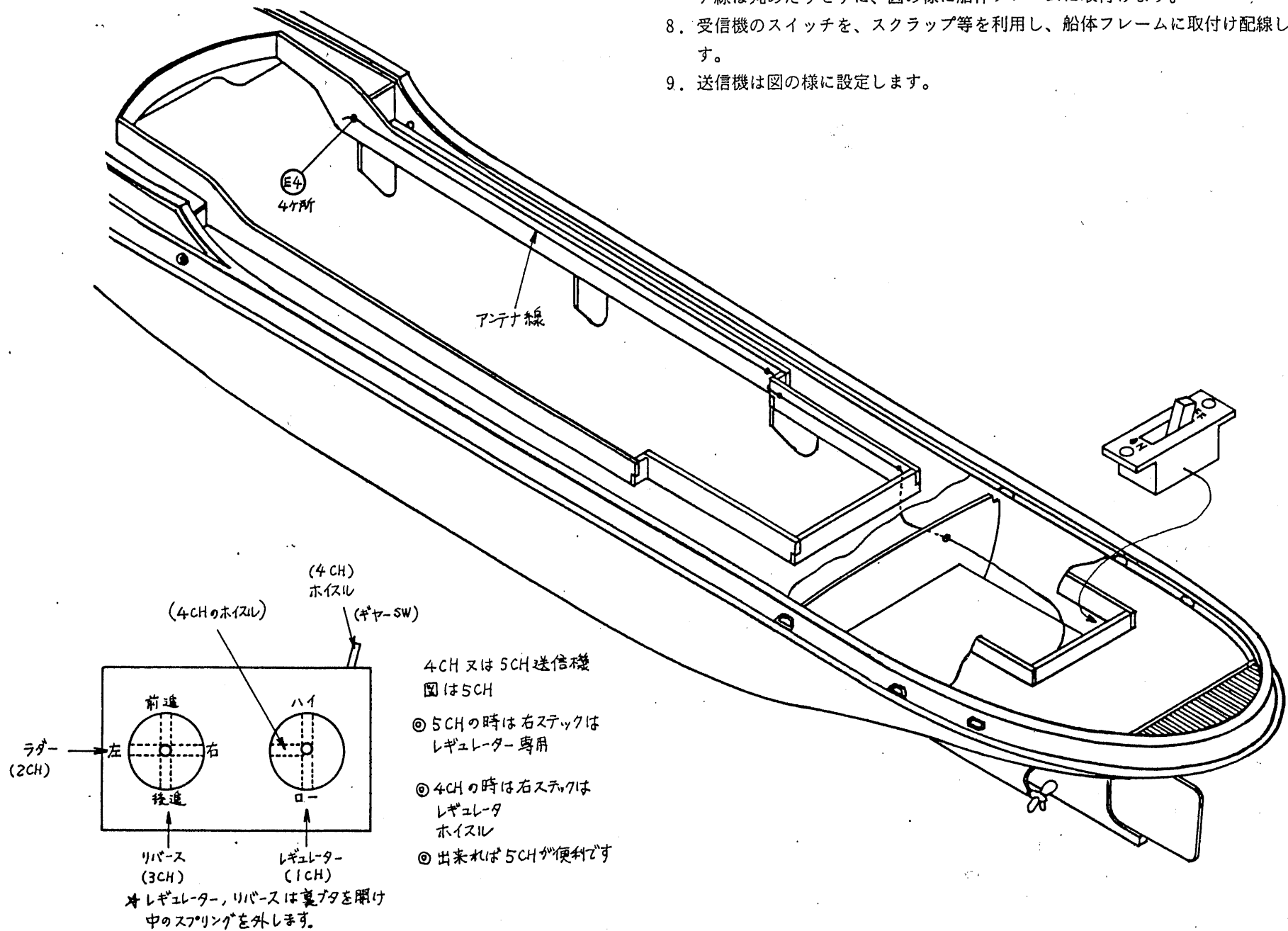


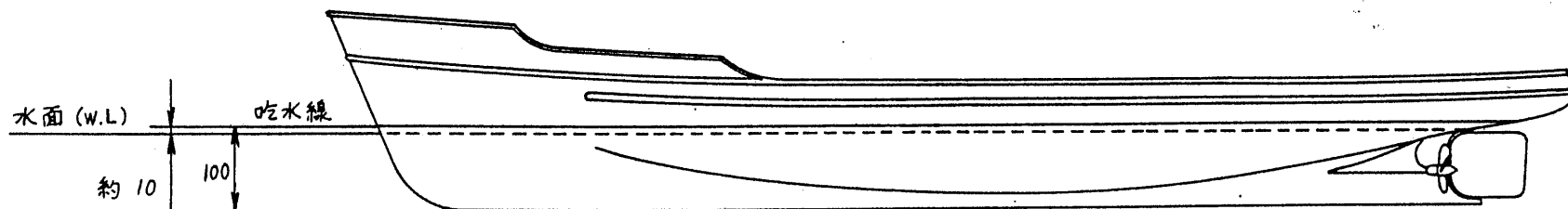
6. サーボベット A67に使用サーボを取付けます。各サーボは最初、リンケージをしないで、ニュートラル又は、各サーボホーンを設定します。

次に図に従い、各サーボのストロークを決めます。(スケールで計って決める)それからリンケージします。ストロークが合わないで、押し過ぎたり、引き過ぎは、サーボ並びにバッテリーのトラブルになります。



7. 受信機、バッテリーをサーボベットに、角棒等を加工し、取付けます。アンテナ線は丸めたりせずに、図の様に船体フレームに取付けます。
8. 受信機のスイッチを、スクラップ等を利用し、船体フレームに取付け配線します。
9. 送信機は図の様に設定します。





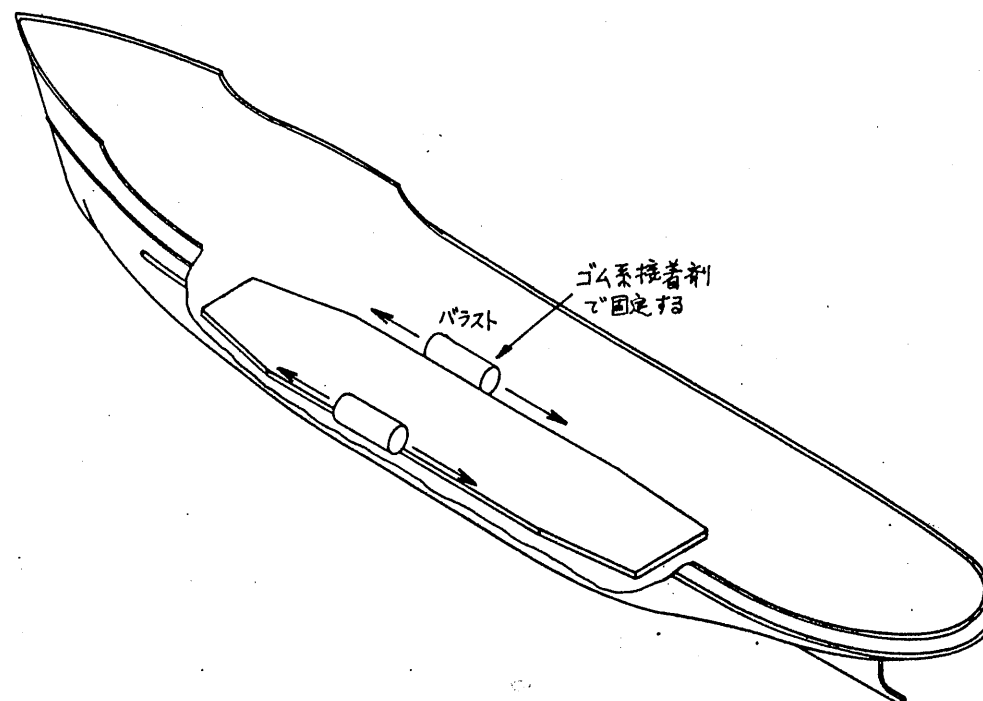
〔7〕 バランス調整

② バランス調整

1. 図の吃水線より約10mmの位置に水面がくる様に船体内部にバラストを入れます。

前後・左右の傾きを調整します。

(吃水が浅いと転覆、沈没する恐れがあります)



〔 8 〕 運 転

走航運転——最初キャビンを外し、給水 (①)、給油 (②) します。この時オイラー及び各回転作動部に充分給油します。

次に燃料 (③) を入れます。(この時、バーナーニードルは締めて置きます。開けたまま燃料を入れますと火口より液体で流れ出し、点火すると燃え上がりますので、流れ出した時は直ぐ水をかけます。)

この順序で入れる習慣を付けますと、ボイラーの空焚を防ぐ事が出来ます。(最初に燃料を入れますと、何かの錯覚で給水を忘れる事があります。)

燃料の注入時は船体に垂らさない様に注意して下さい。(ラッカー塗装の為) 垂らした時は直ぐに水をかけます。

バーナー火皿に燃料をスポイトで注入する時、廻りにこぼした時も上記の方法を取ります。

次にバーナー火皿にスポイトで各火皿に2回づつアルコールを入れ点火します。8分目位燃焼しましたら、ニードルを静かに開け、火口に着火しましたらニードル開度90°(最大開度)に開けます。(開けすぎると火が消えます)

次にもう1本の火口も点火します。プレッシャーが2kg/cm²になったら、レギュレーターを中速にして、最初ウォーターハンマー現象がありますが、エンジンが温まったり、正常運転になりましたら、スローにして、もう一度バーナーニードルを調節してキャビンを被せ、走航に移ります。

走行中リバースに切替える時は、ゆっくりでなく早く切替えます。エンジンが停止しましたら、一旦レギュレーターを締めて再度切替えてみます。

走航中は燃焼時間を見て、バーナー音が低くなったら回収します。(タイマーを使用すると便利です。)

陸上では中速まで。最高回転は不可。最初の航海は遠くへ出さないで近くで航海します。(万一、火が消えた時にそなへ)

ドレン抜き——ドレントank内のドレンは1回走航する事に、ドレンがまだ温かい時に回収します。

キャビンの脱着——レーダーマスト上部のフックを外して、キャビン前後を持って水平にはずします。

水抜き——リバース全速は不可。船底に溜った水を抜いて下さい。

船体が衝突した時——走航中に何にかに衝突した時は、速やかに回収点検して下さい。バーナーがショックで前部に移動すると、船火事を起こす事があります。対策としてバーナー押え板の木ネジで固定してあります。バーナーを脱す時は、緩めて脱します。

波の荒い時の走航——波の荒い時(波高10~15cm)の走航はバラスト1kg位を乗せ、動かない様に固定します。

では安全な航海を祈ります。

S. 1/40

DEEP SEA SALVAGE TUGBOAT

SAMSON II

TECHNICAL DATA

LENGHT.....1510^m
BEAM.....255^m
HEIGHT.....510^m
ENGINE.....T2GR
BOILER.....B2G
RADIO.....4ch

(有) 齊藤製作所

SAITO SEISAKUSHO, LTD.

22-7, TOKAGI 3-CHOME, ICHIKAWA-SHI
CHIBA-KEN, 272 JAPAN
PHONE: 0473-78-4156 FAX: 0473-78-4155

MADE IN JAPAN

〒272 千葉県市川市稲荷木3丁目22-7
TEL: 0473-78-4156 FAX: 0473-78-4155



